

男女共同参画アンケート調査結果

1. 調査の目的

令和5年3月に策定した「第3次蕨崎市男女共同参画推進計画」について、「男女共同参画」に対する市民の認識や考え、日々の生活における意識について実態を把握し、今後の男女共同参画施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 実施概要

調査地域: 蕨崎市全域

調査対象: 18 歳以上の市民

抽出方法: 令和7年8月15日現在の住民基本台帳より、性別、年齢、居住地区を考慮し、無作為に抽出

調査方法: WEB回答、郵送による配布及び回収

調査期間: 令和7年8月から9月

配 布 数: 1,000 人

3. 回収結果

配 布 数: 1,000 人

回 収 数: 507 人

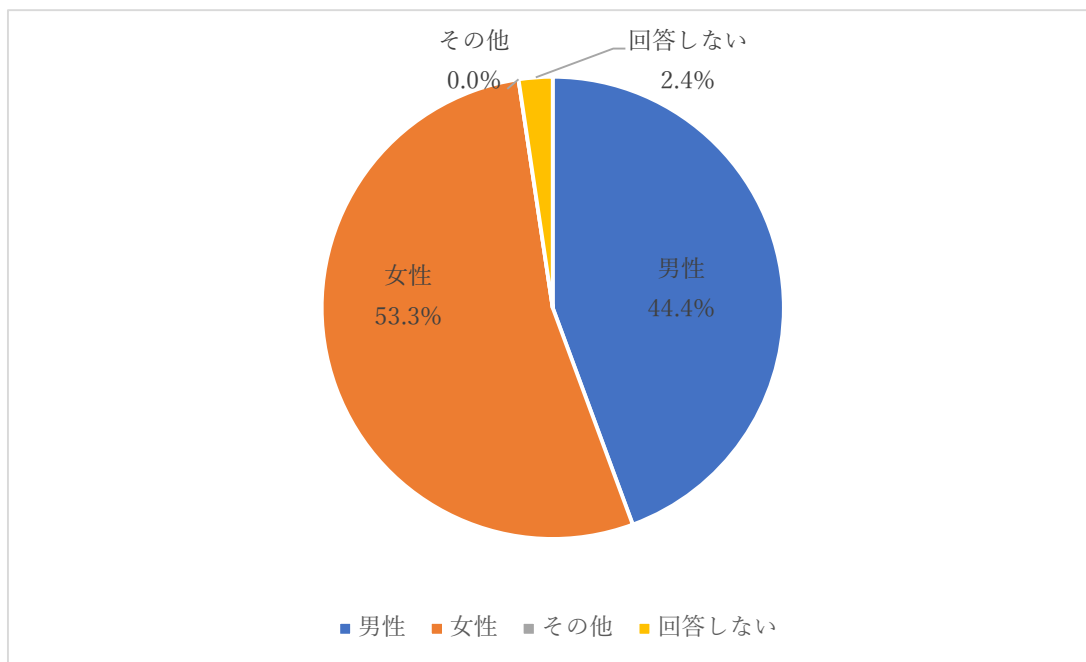
回 収 率: 50.7%

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基礎として、小数点第2位を四捨五入しています。
そのため、その合計値が 100%にならない場合があります。

調査結果

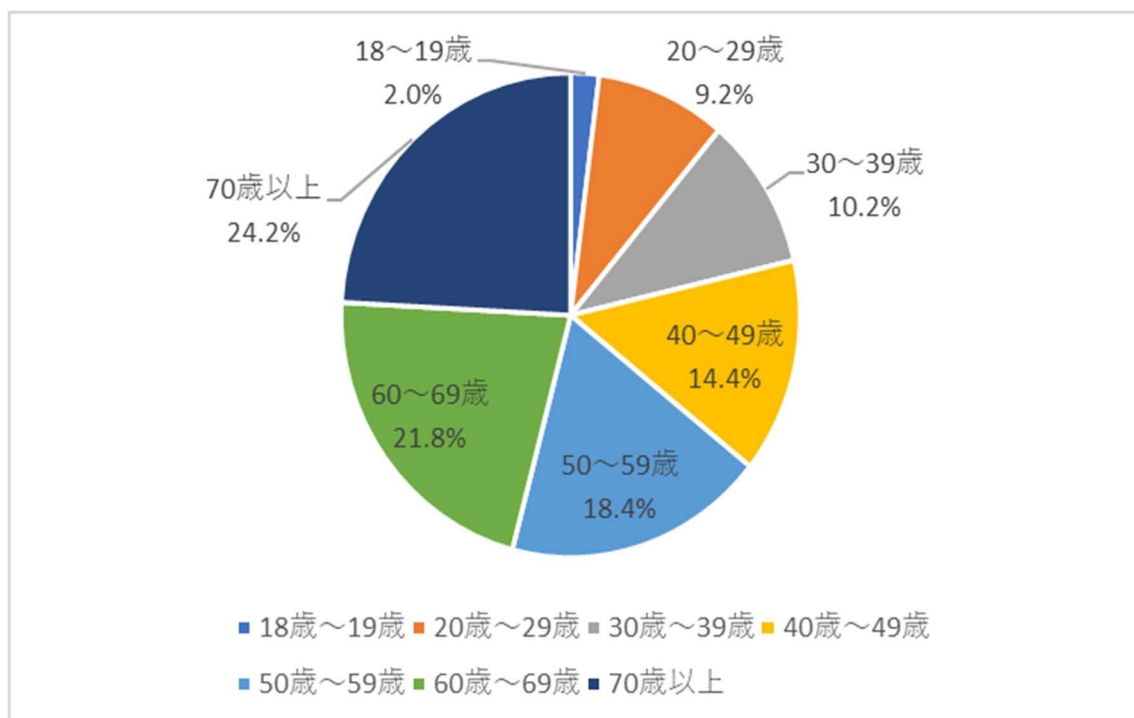
回答者自身について

(1)性別



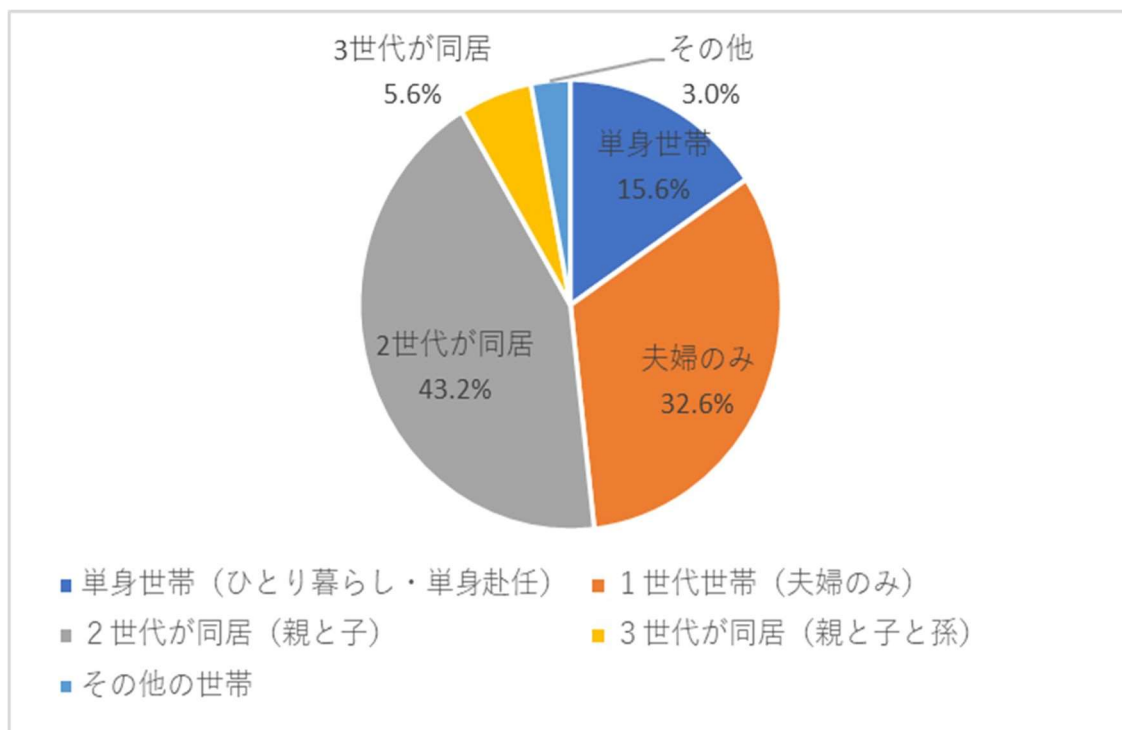
項目	回答数	構成比
男性	225	44.4%
女性	270	53.3%
その他	0	0.0%
回答しない	12	2.4%
計	507	100.0%

(2)年齢



項目	回答数	構成比
18歳～19歳	10	2.0%
20歳～29歳	46	9.2%
30歳～39歳	51	10.2%
40歳～49歳	72	14.4%
50歳～59歳	92	18.4%
60歳～69歳	109	21.8%
70歳以上	121	24.2%
計	501	100.0%

(3) 家族形態

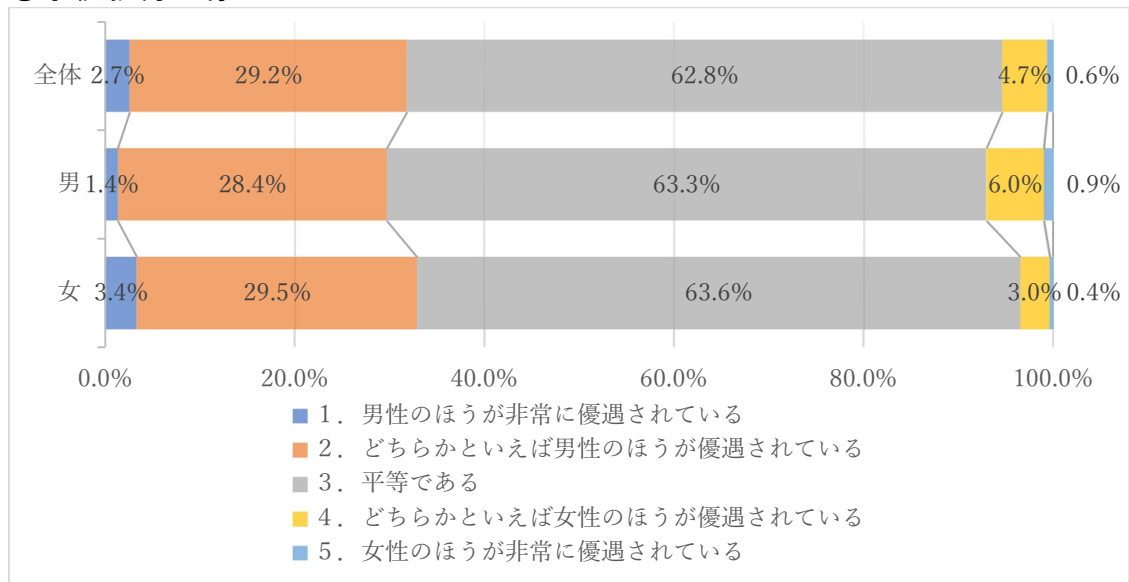


項目	回答数	構成比
単身世帯 (ひとり暮らし・単身赴任)	78	15.6%
1 世代世帯 (夫婦のみ)	163	32.6%
2 世代が同居 (親と子)	216	43.2%
3 世代が同居 (親と子と孫)	28	5.6%
その他の世帯	15	3.0%
計	500	100.0%

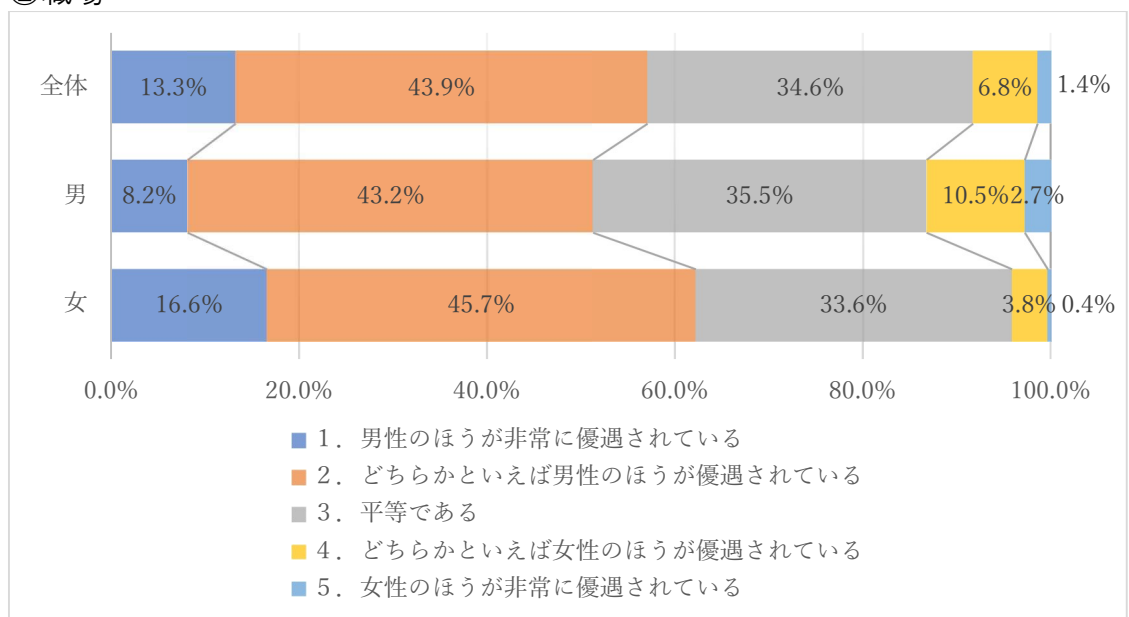
1. 男女平等について

問1 それぞれの分野で男女平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

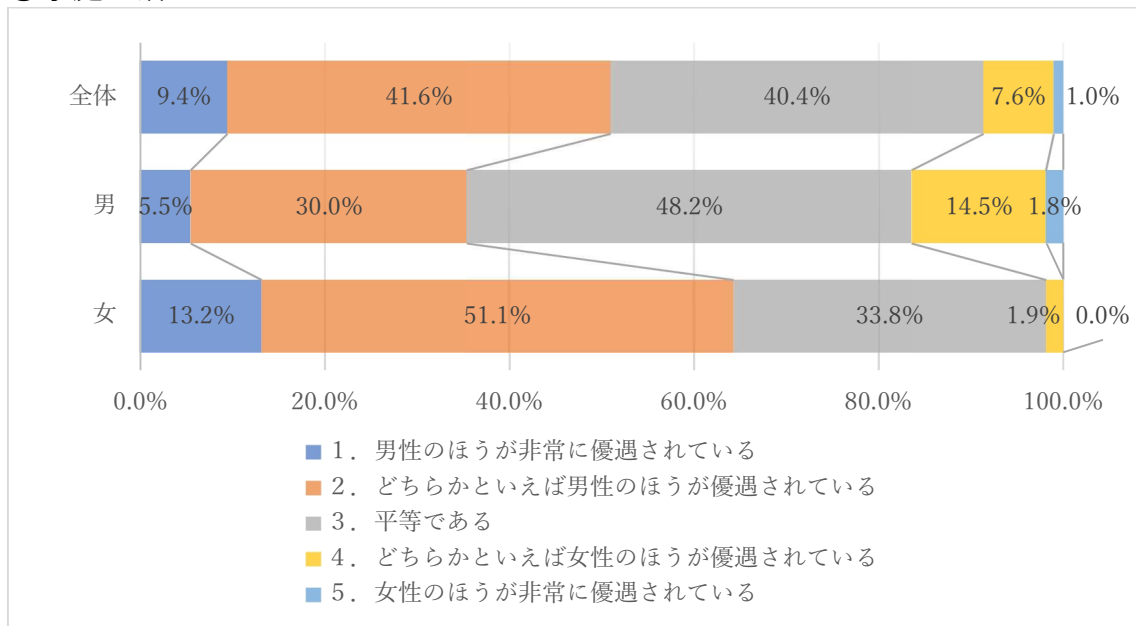
①学校教育の場



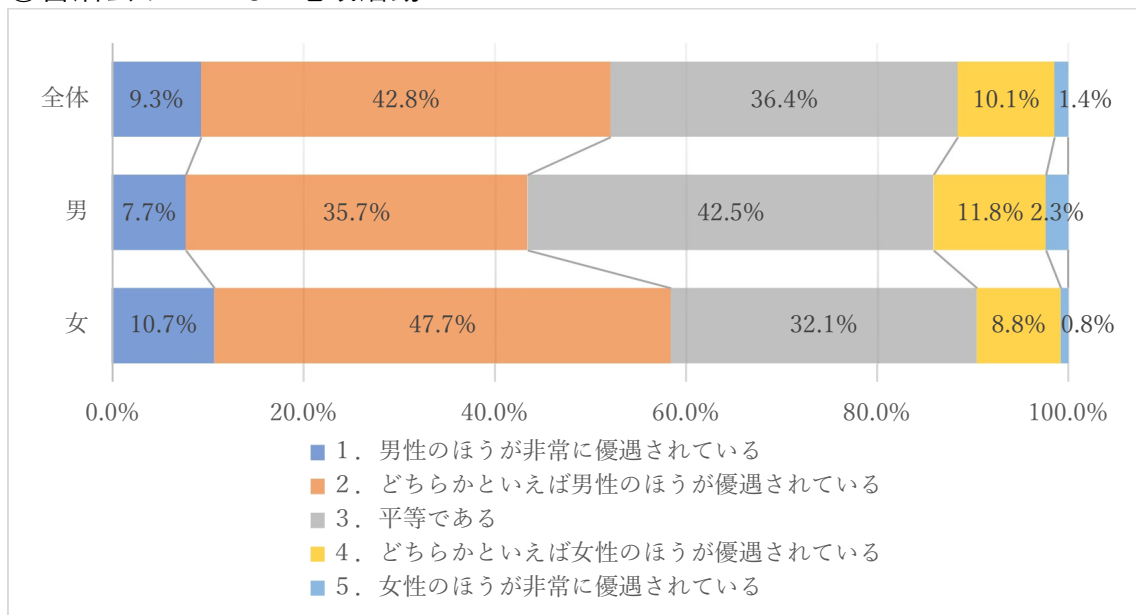
②職場



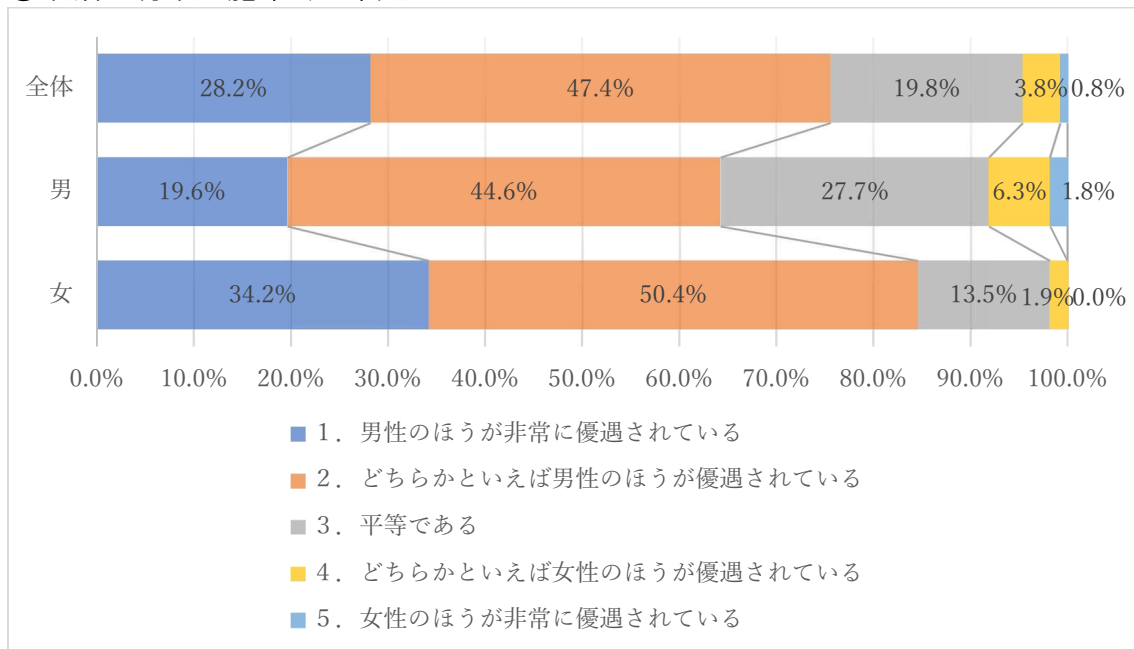
③家庭生活



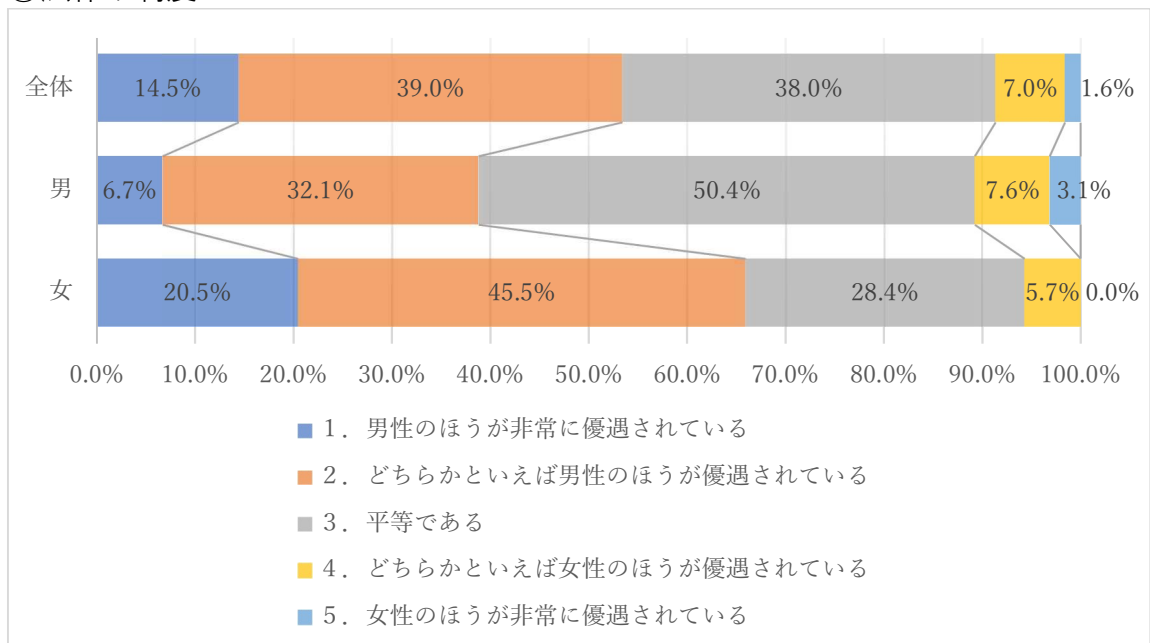
④自治会やPTA など地域活動



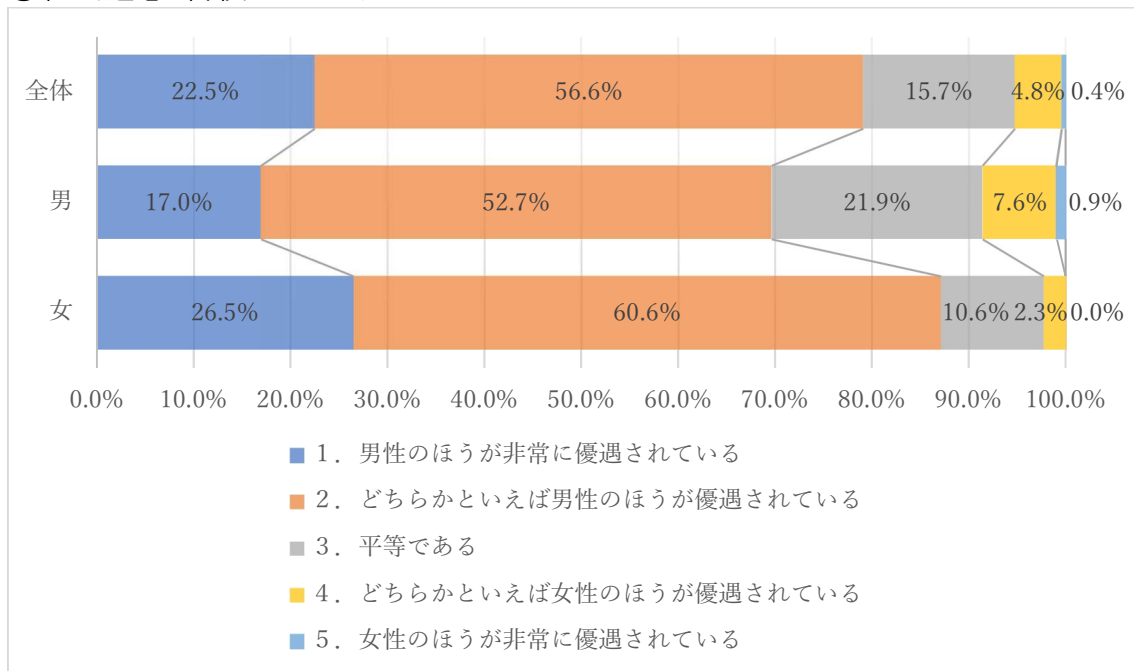
⑤政治や行政の施策・方針決定



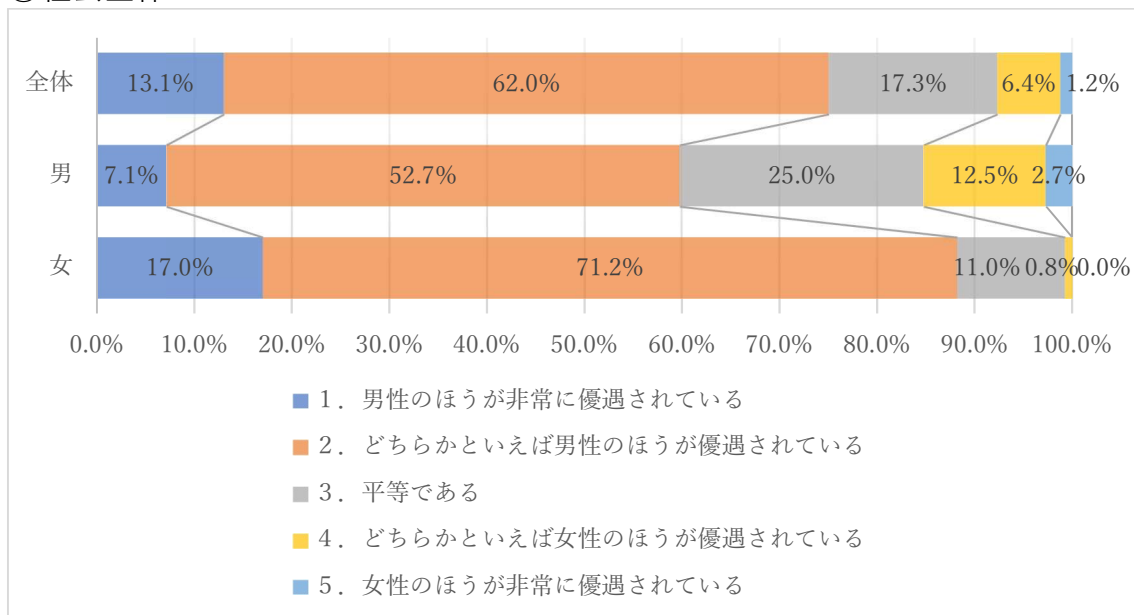
⑥法律や制度



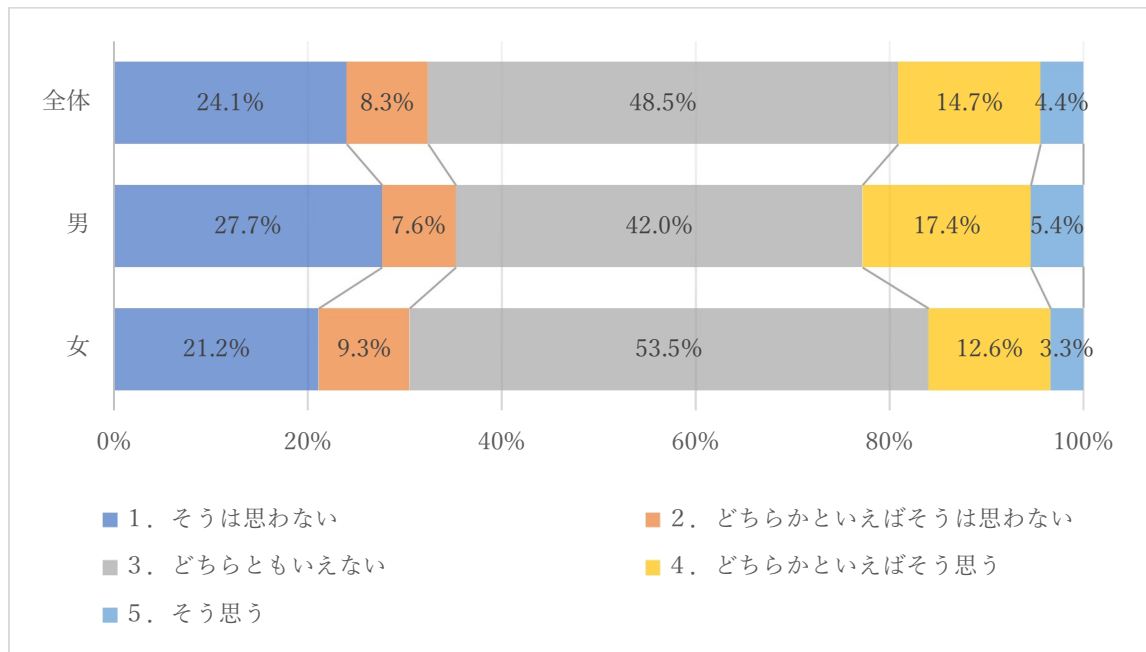
⑦社会通念・習慣やしきたりなど



⑧社会全体として

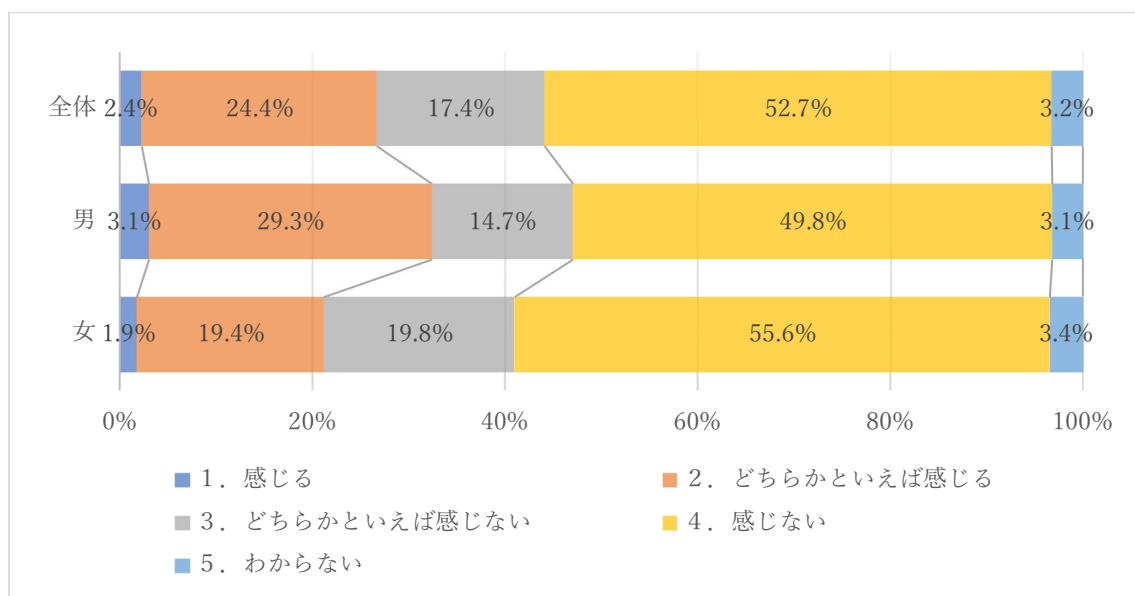


問2 「男性の方がリーダーに向いている」と思いますか。(1つ選択)

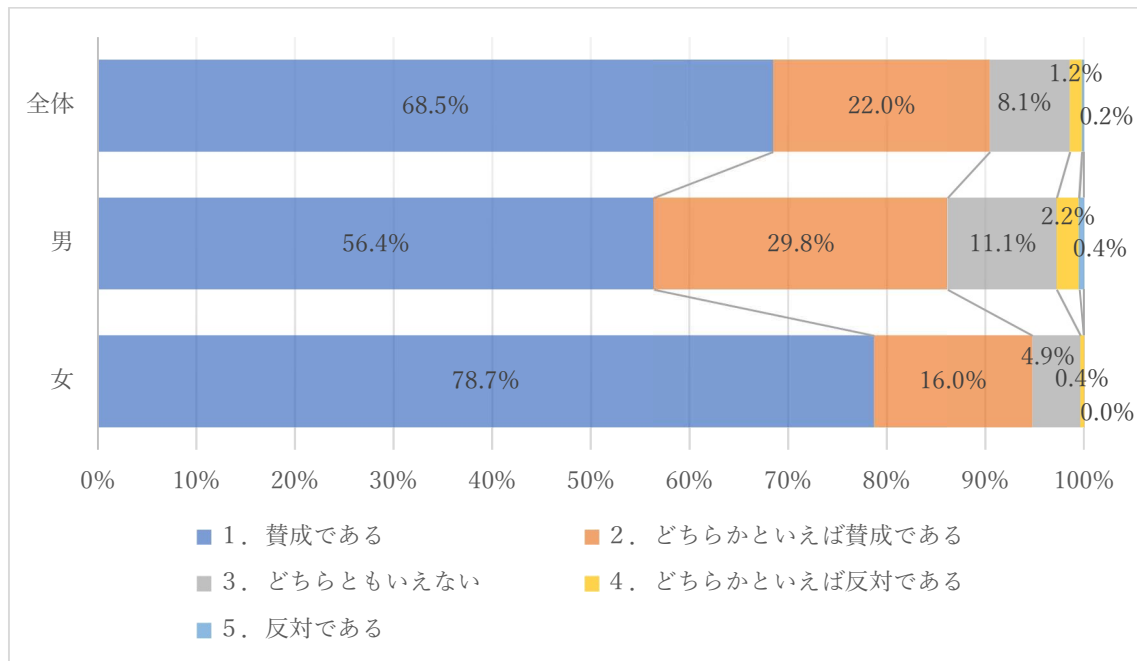


2. 家庭生活について

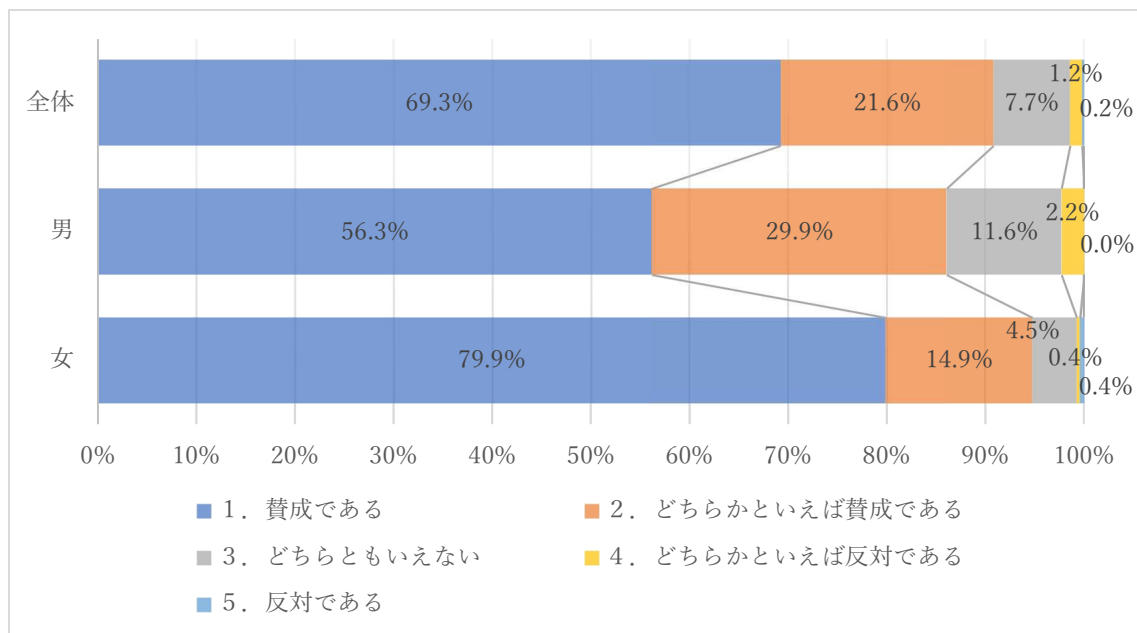
問3 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」と感じていますか。(1つ選択)



問4 男性が家事を行うことに賛成ですか。(1つ選択)



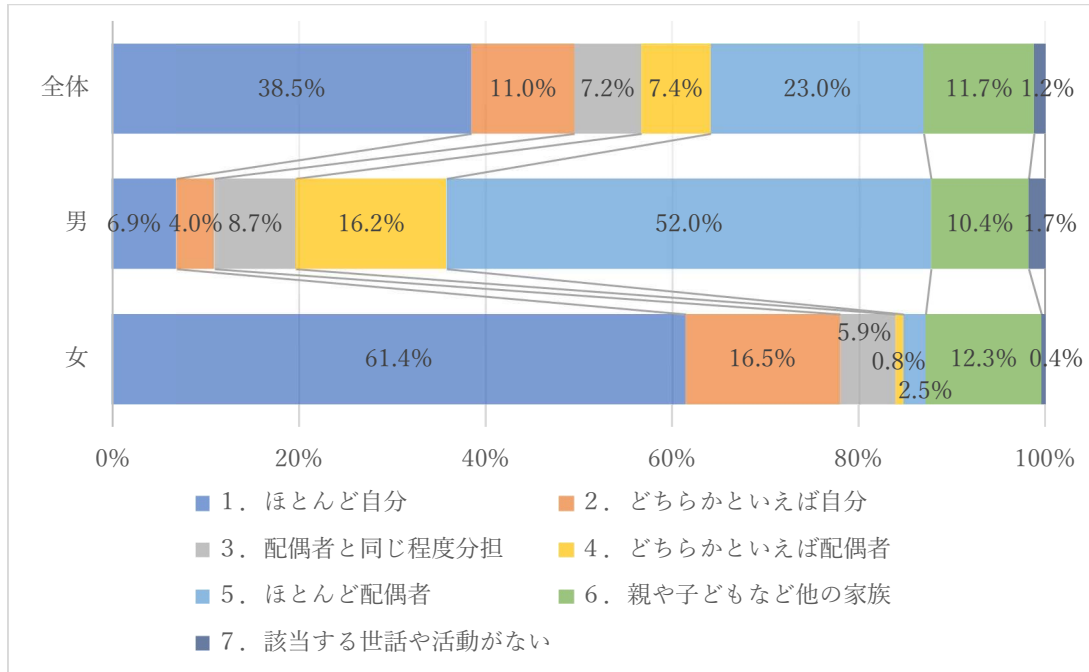
問5 男性が育児を行うことに賛成ですか。(1つ選択)



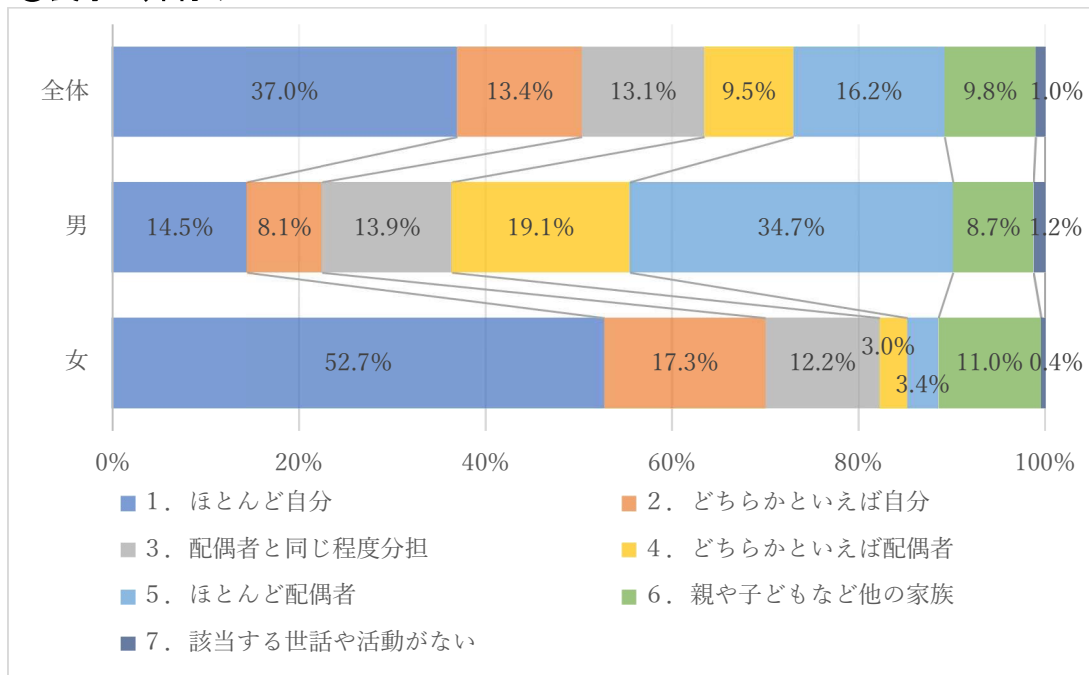
問6 【単身世帯以外の方】にお尋ねします。

次の家庭内で行われる仕事は、どなたが担当されていますか。(1つ選択)

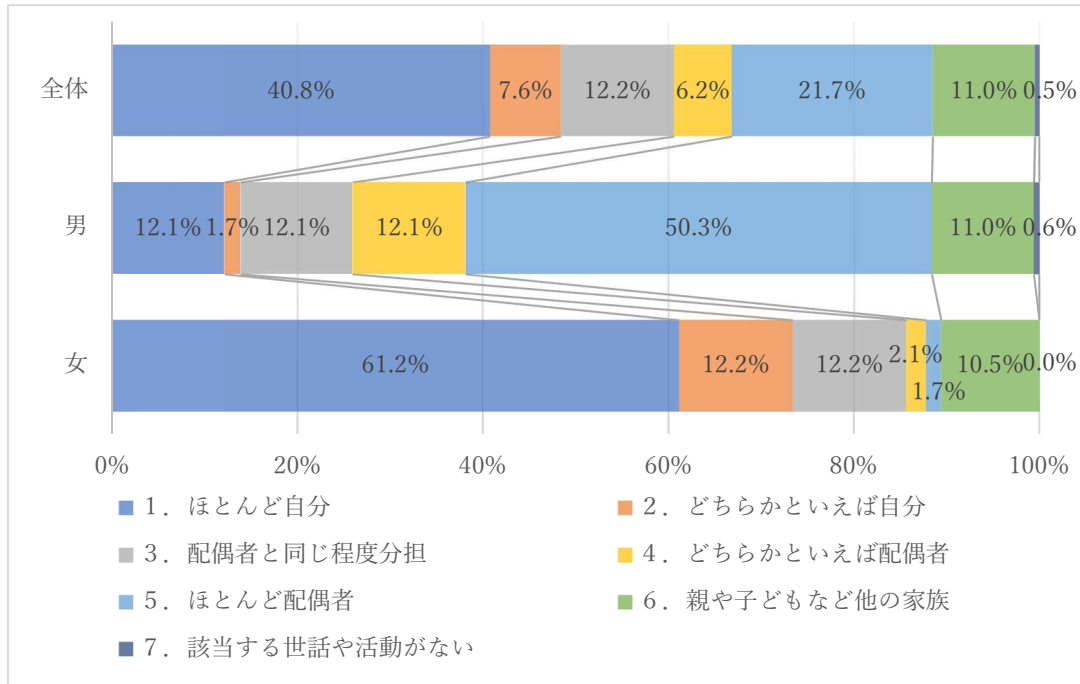
①食事のしたく



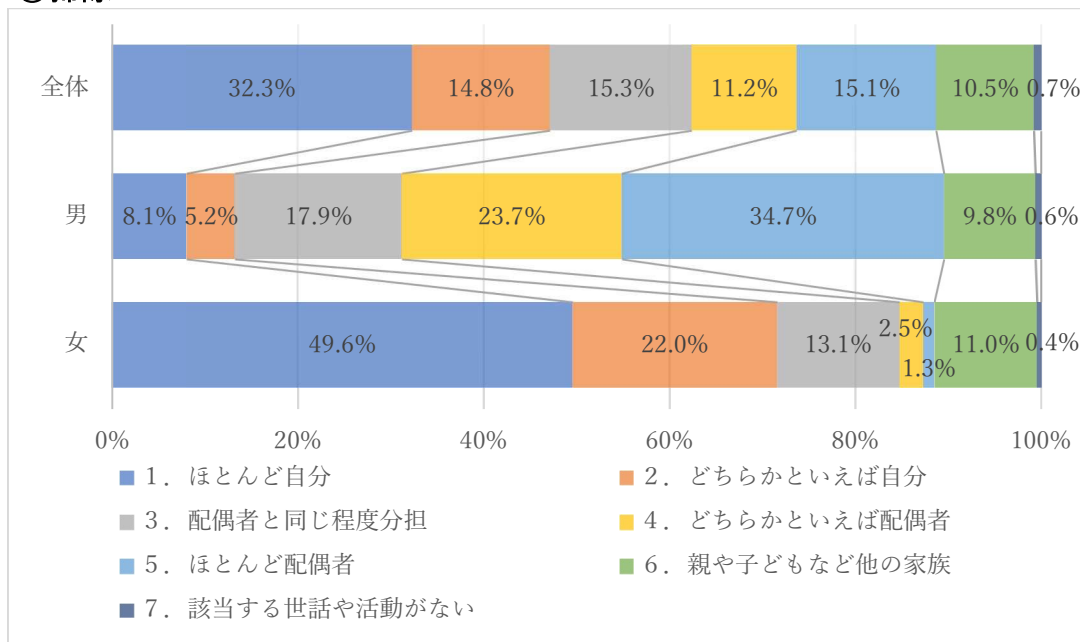
②食事の片付け



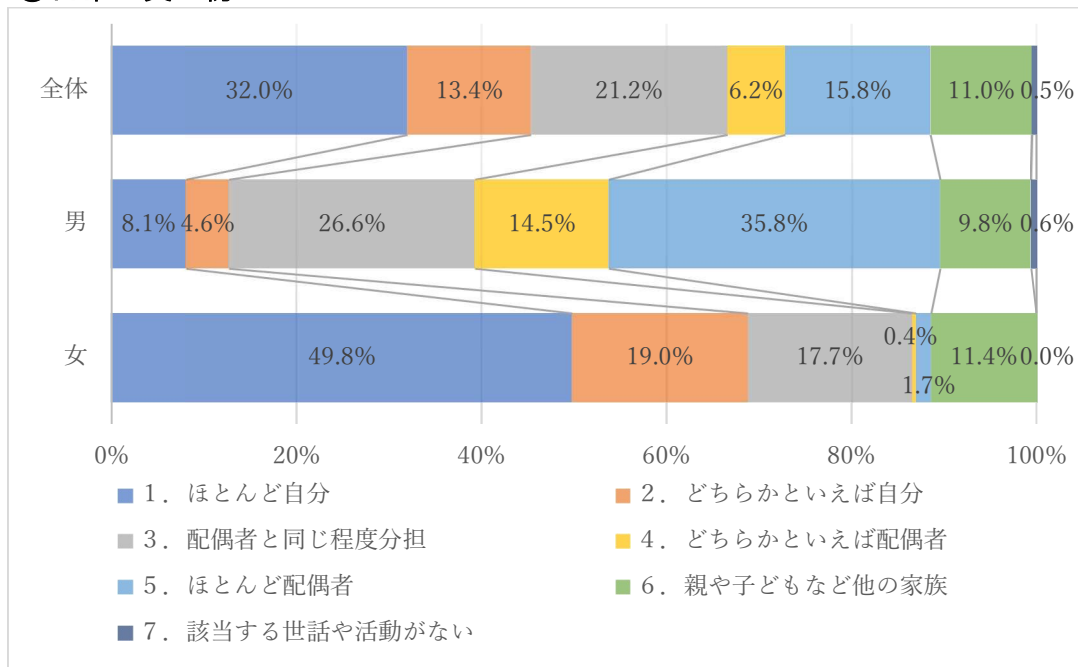
③洗濯



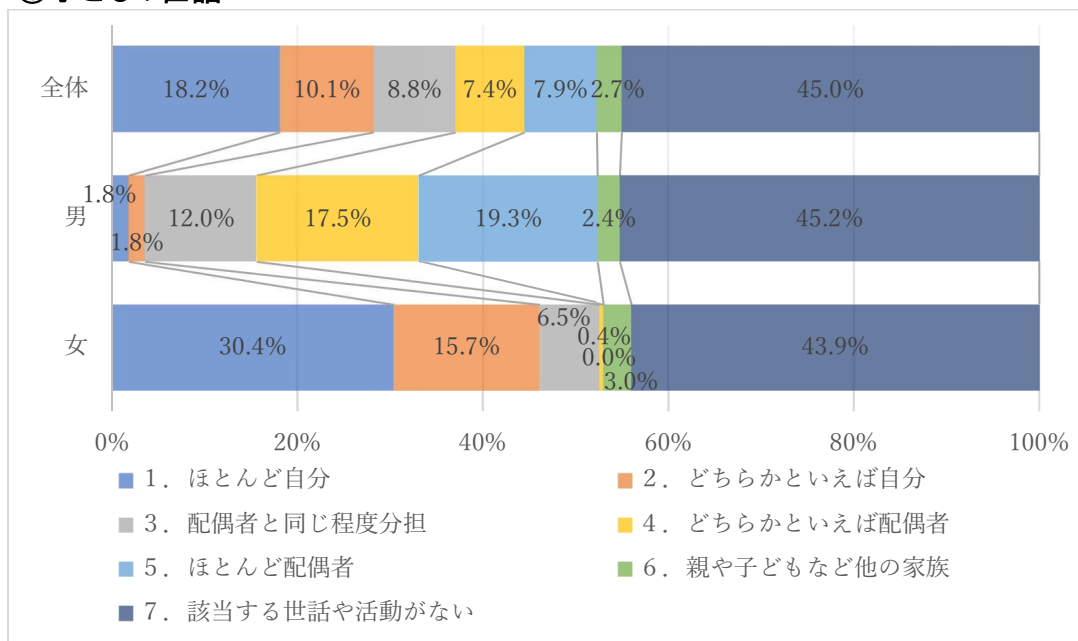
④掃除



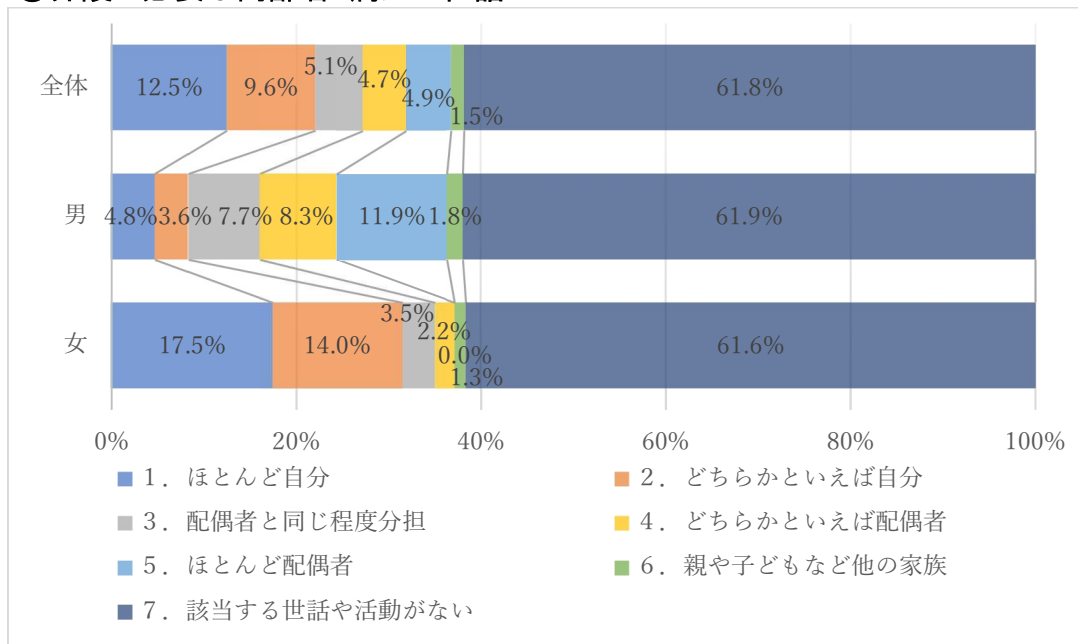
⑤ 日常の買い物



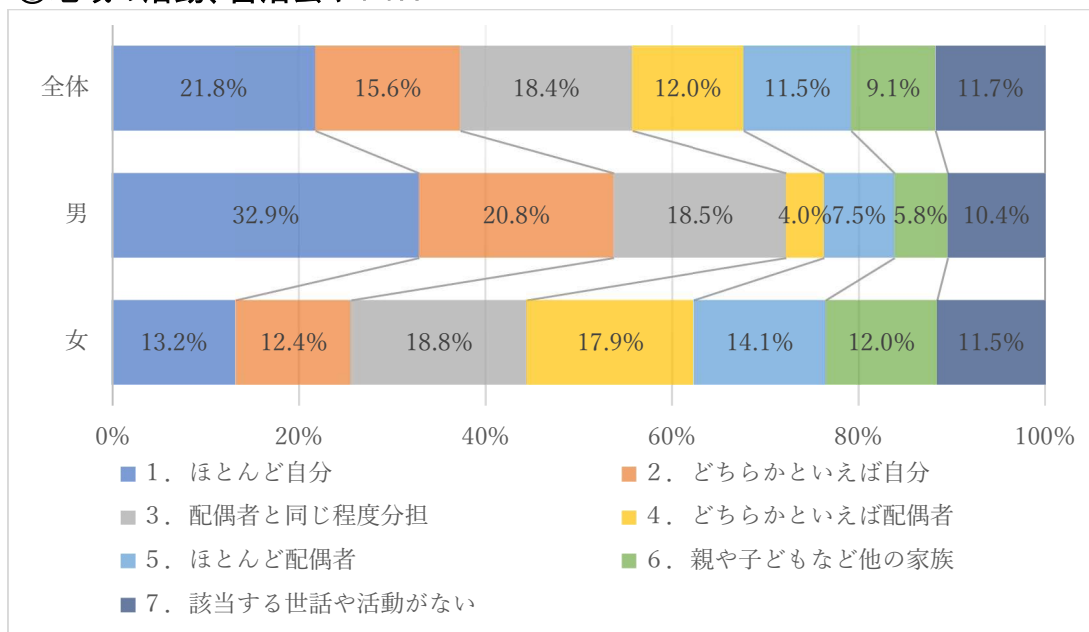
⑥ 子どもの世話



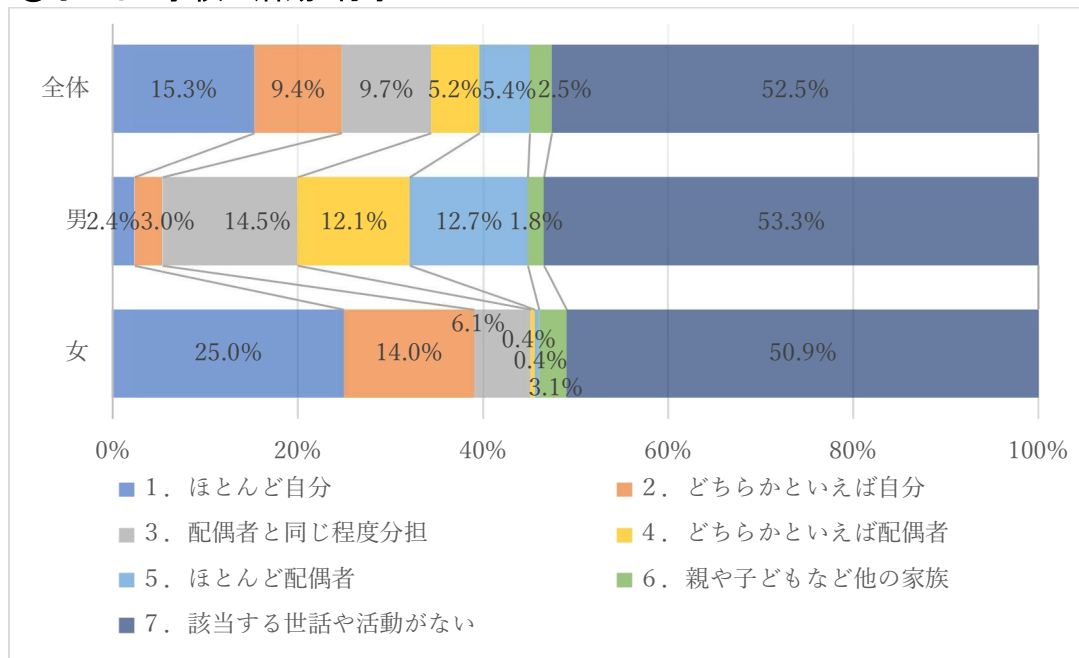
⑦介護の必要な高齢者・病人の世話



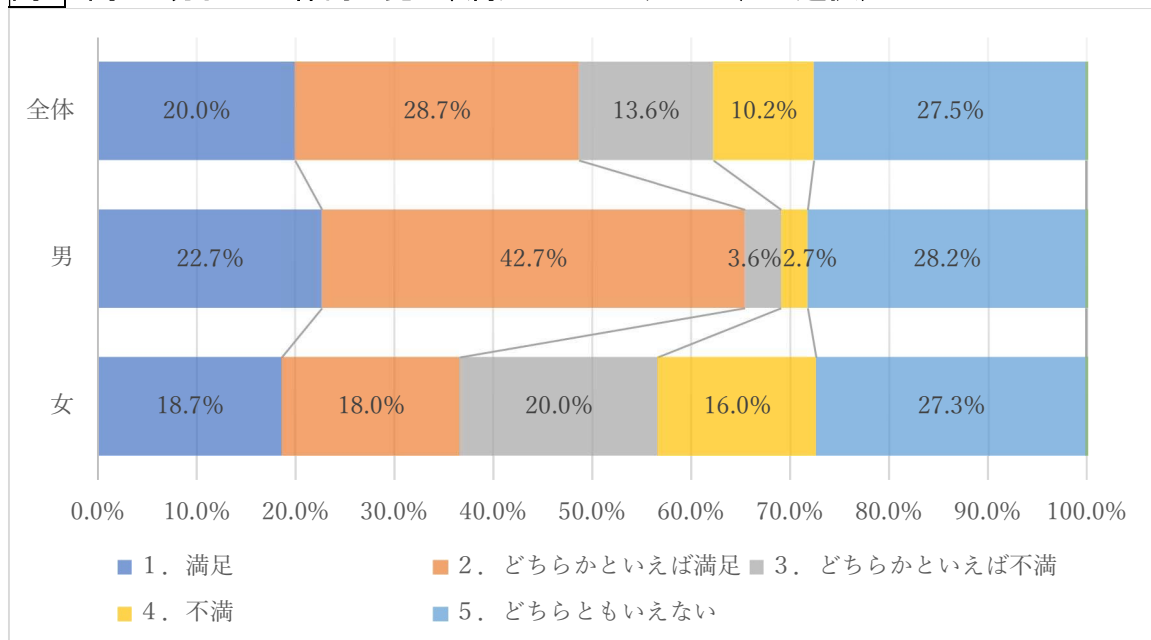
⑧地域の活動、自治会やPTA



⑨子どもの学校の活動・行事

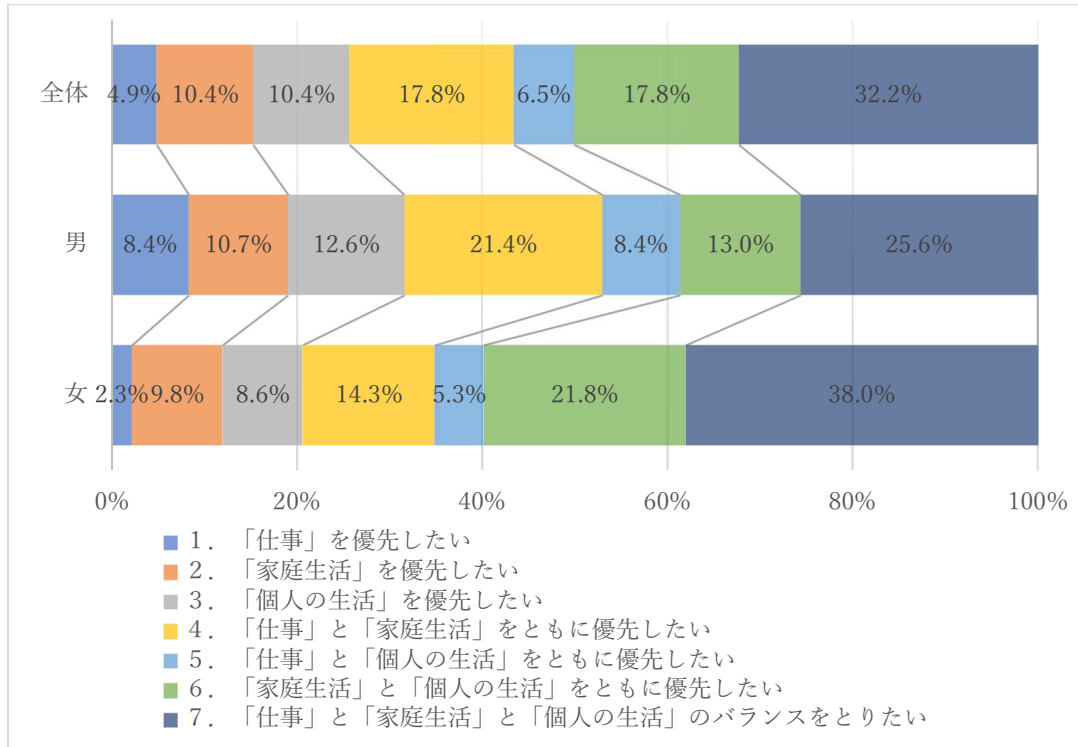


問7 問6の分担を全体的に見て、満足していますか？(1つ選択)

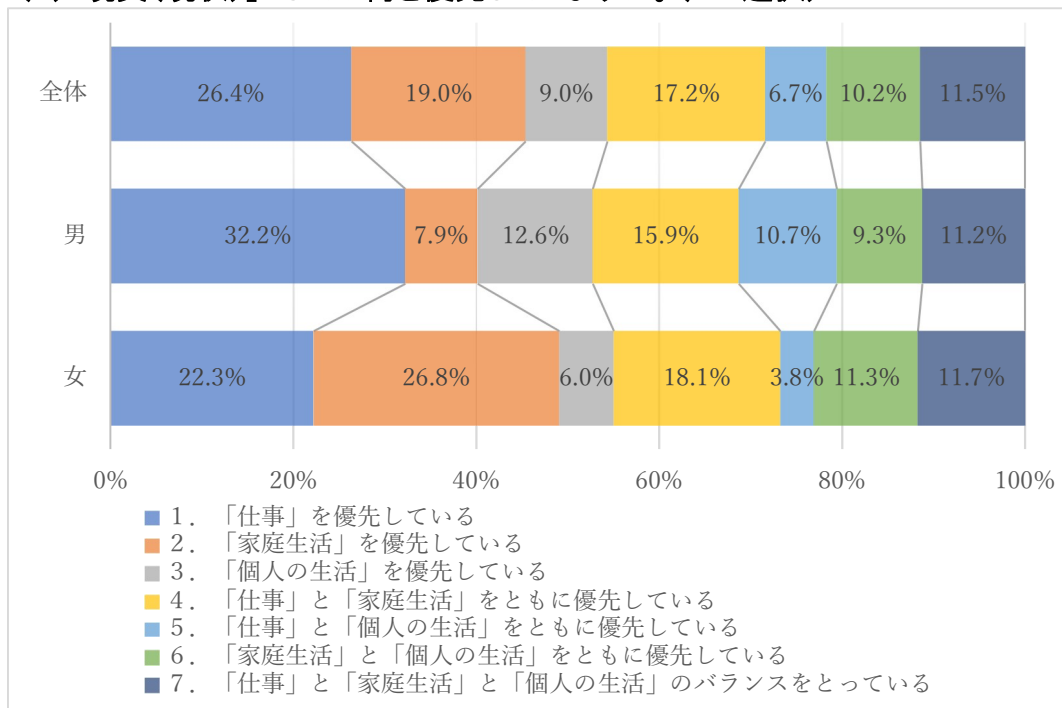


問8 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」の優先度について

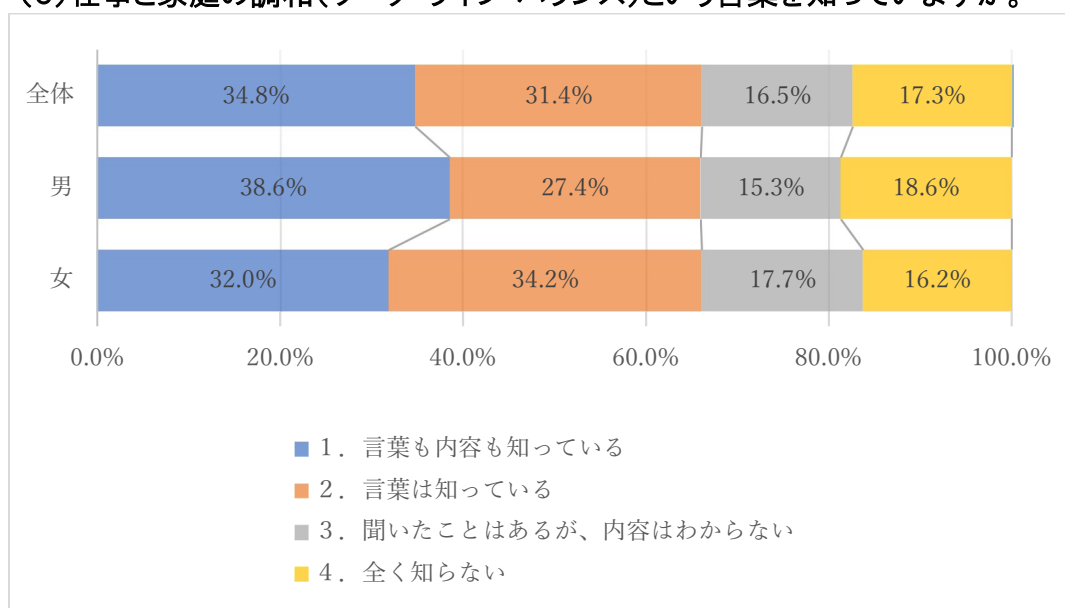
(A)「希望」としては何を優先したいですか。(1つ選択)



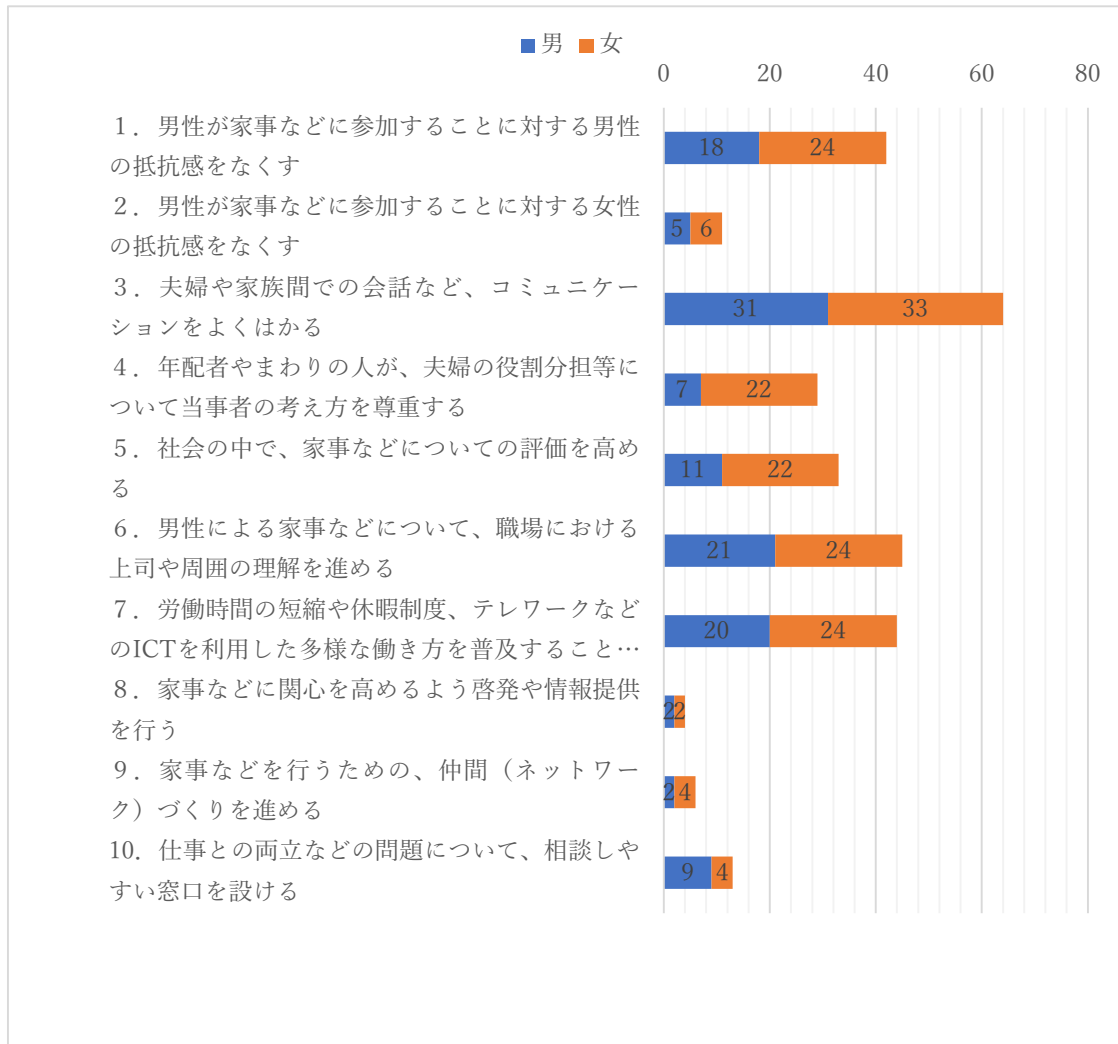
(B)「現実(現状)」としては何を優先していますか。(1つ選択)



(C)仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)という言葉を知っていますか。

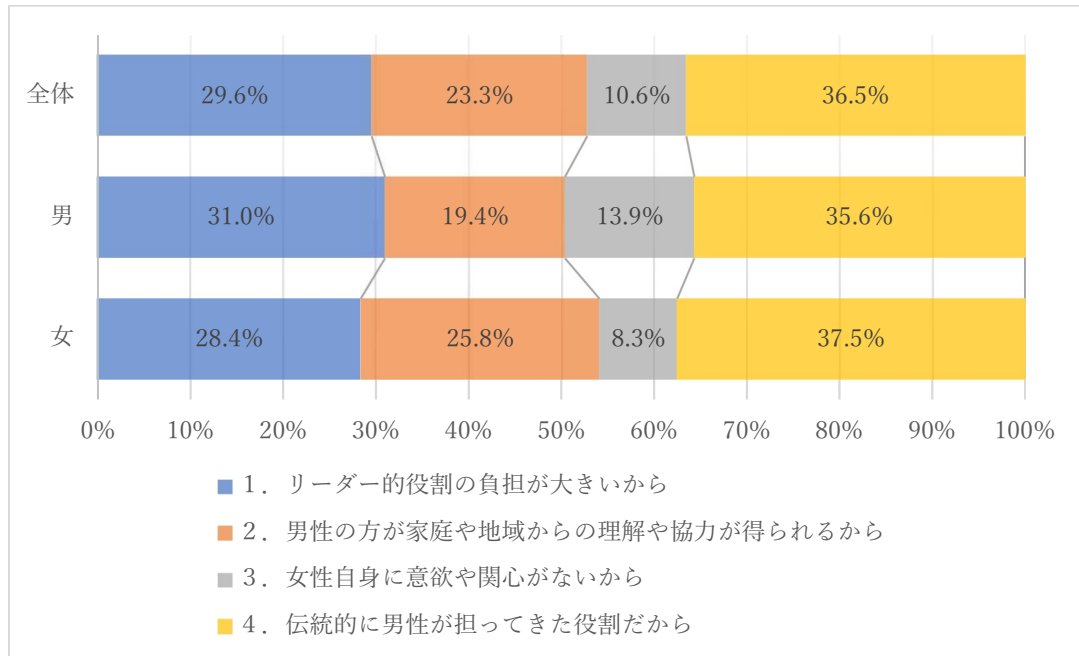


問9 男性が女性と共に家事、育児、介護に積極的に参加していくために必要な事(3つまで選択)

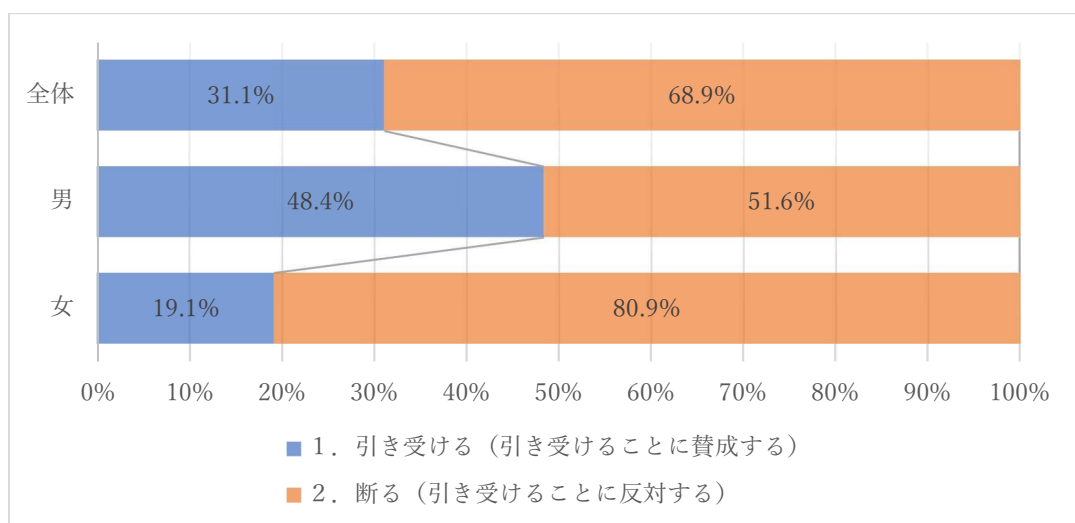


3. 地域活動・防災について

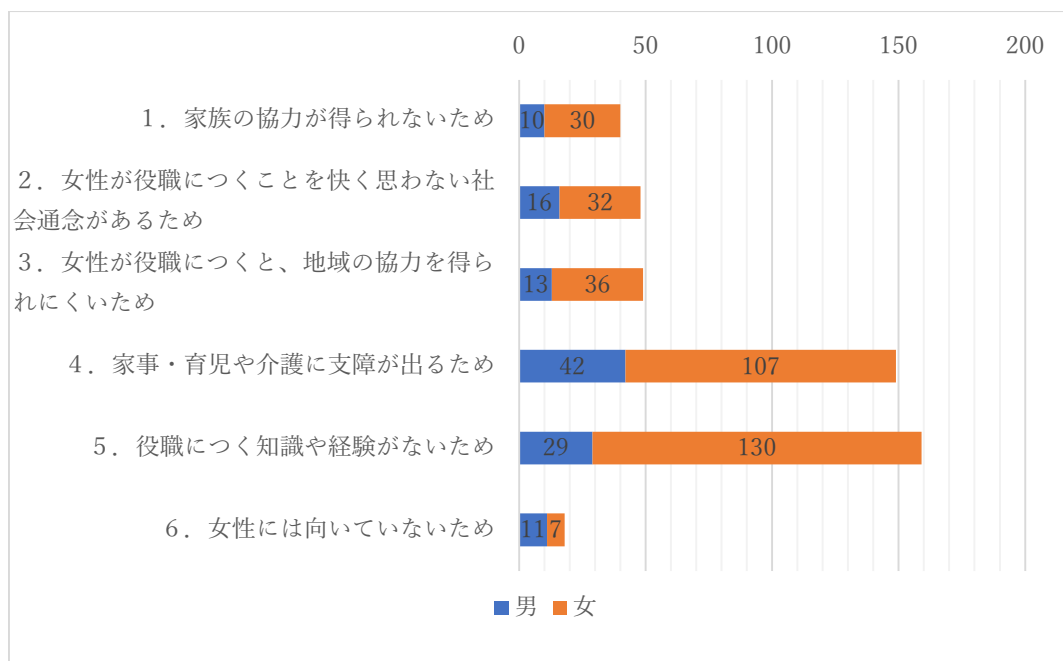
問10 地域活動において、会長などそのグループ内のリーダー的役割を担う存在に男性が多い理由(1つ選択)



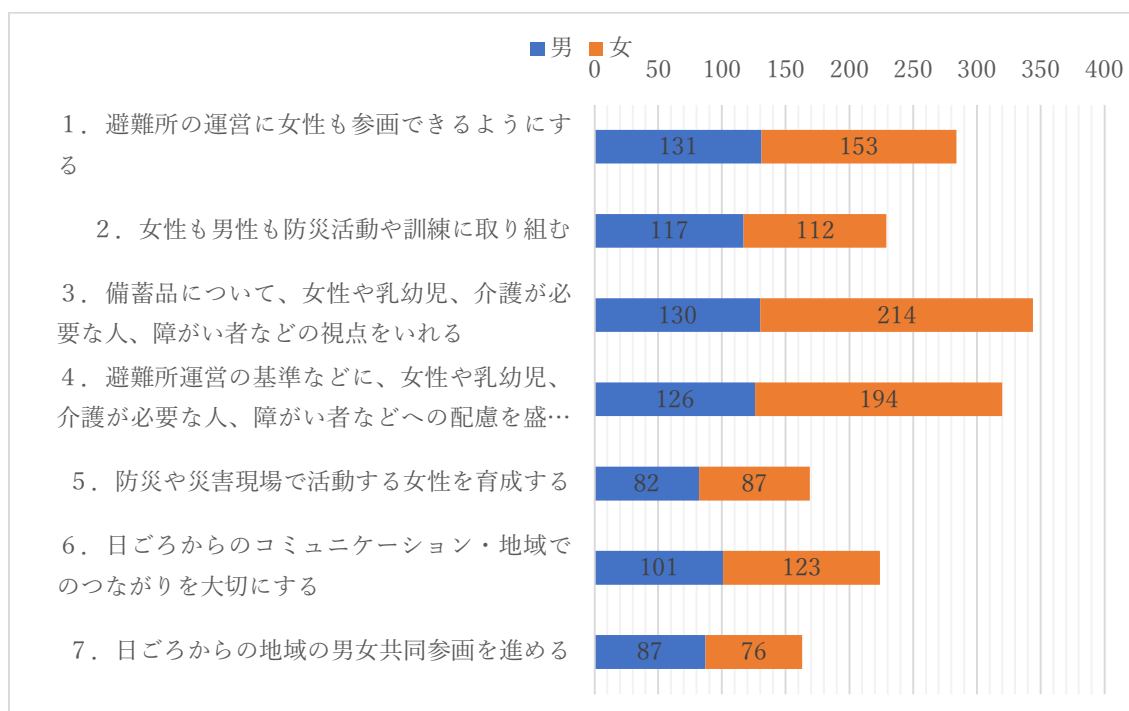
問11 もし、あなたが会長などに推薦されたら引き受けますか。男性の方は、妻などの身近な女性が会長などに推薦されたとしたら引き受けることに賛成ですか。(1つ選択)



問12 問 11 で「2. 断る(引き受けることに反対する)」と回答した方におたずねします。
その理由はなんですか。(あてはまるものすべてを選択)

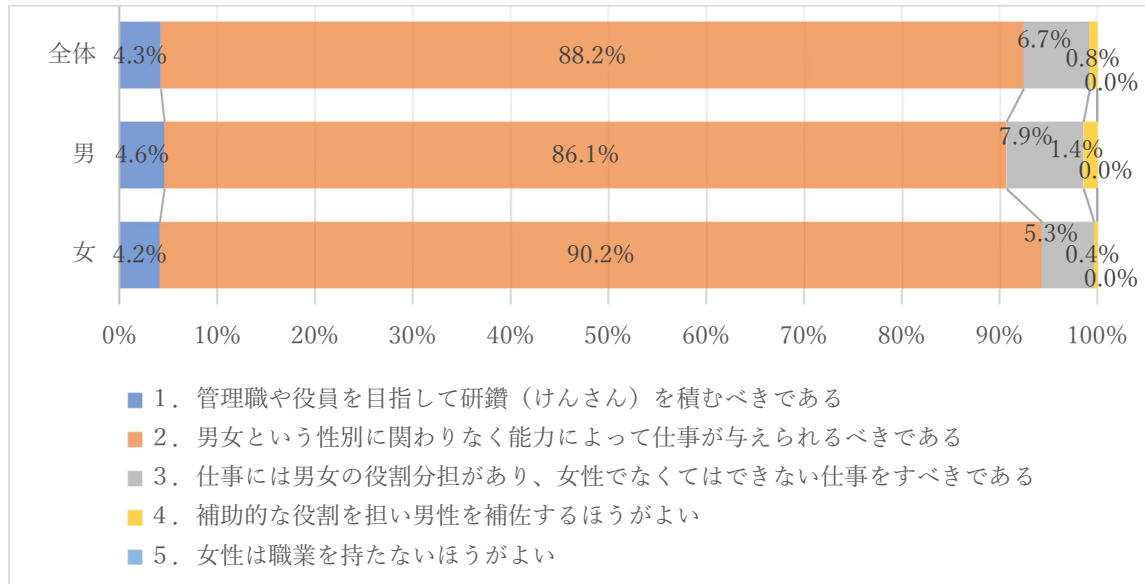


問13 災害に備えるため、これからどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

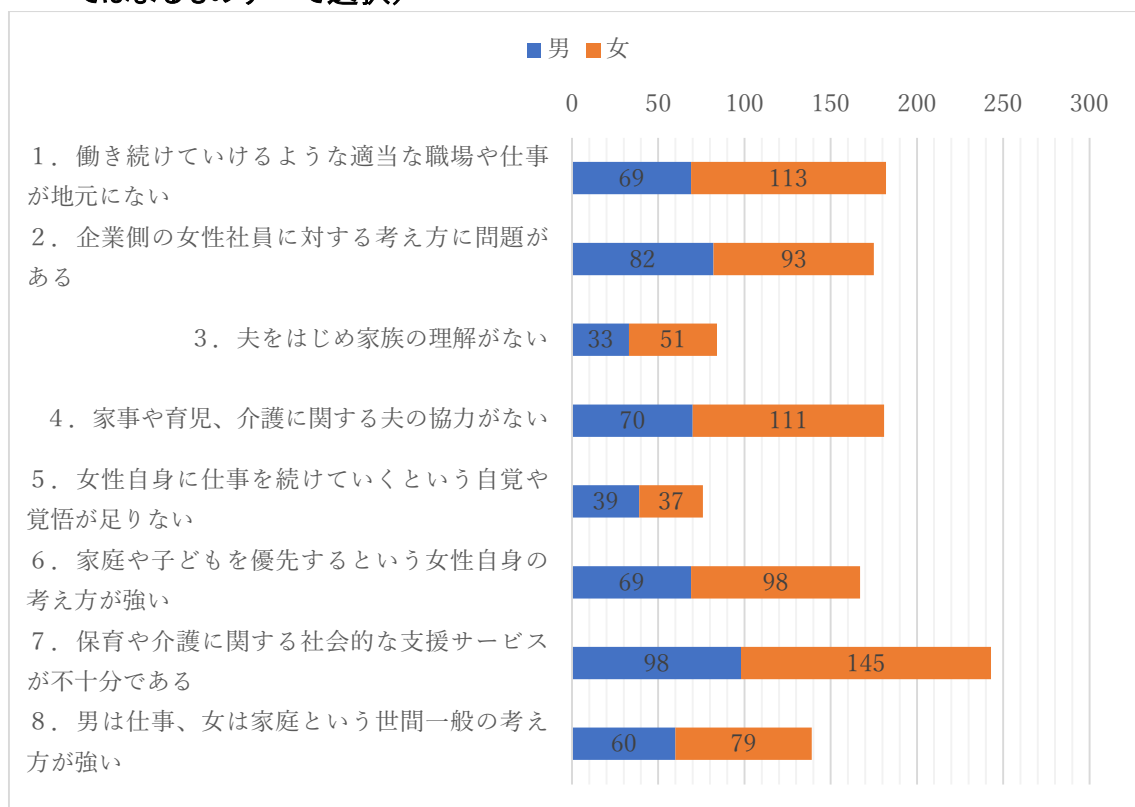


4. 就労・働き方について

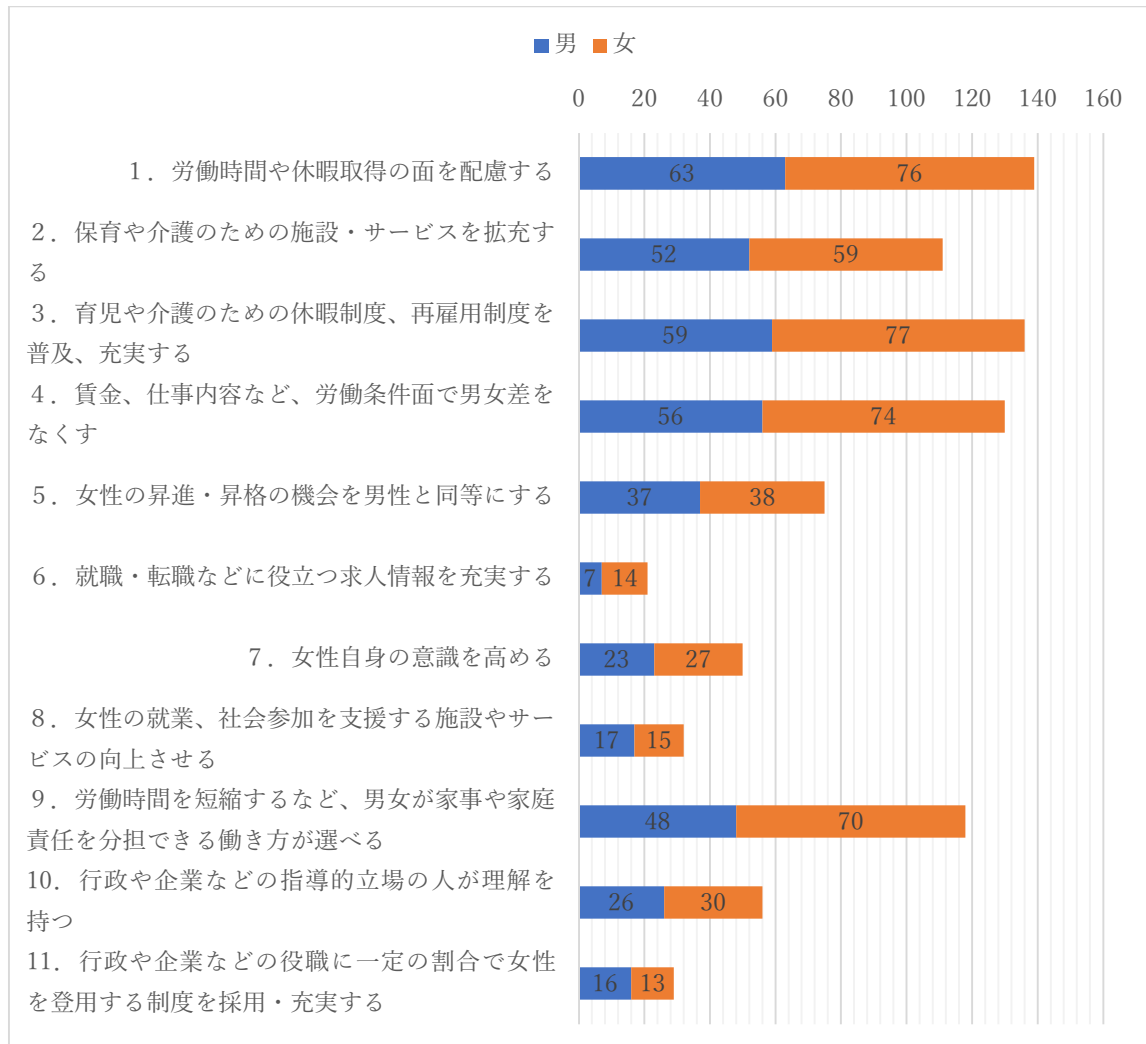
問14 職場での女性の働き方について、どれが望ましいと思いますか。(1つ選択)



問15 女性が生涯仕事を続けていくことを難しくしている原因は何だと思いますか。(あてはまるものすべて選択)



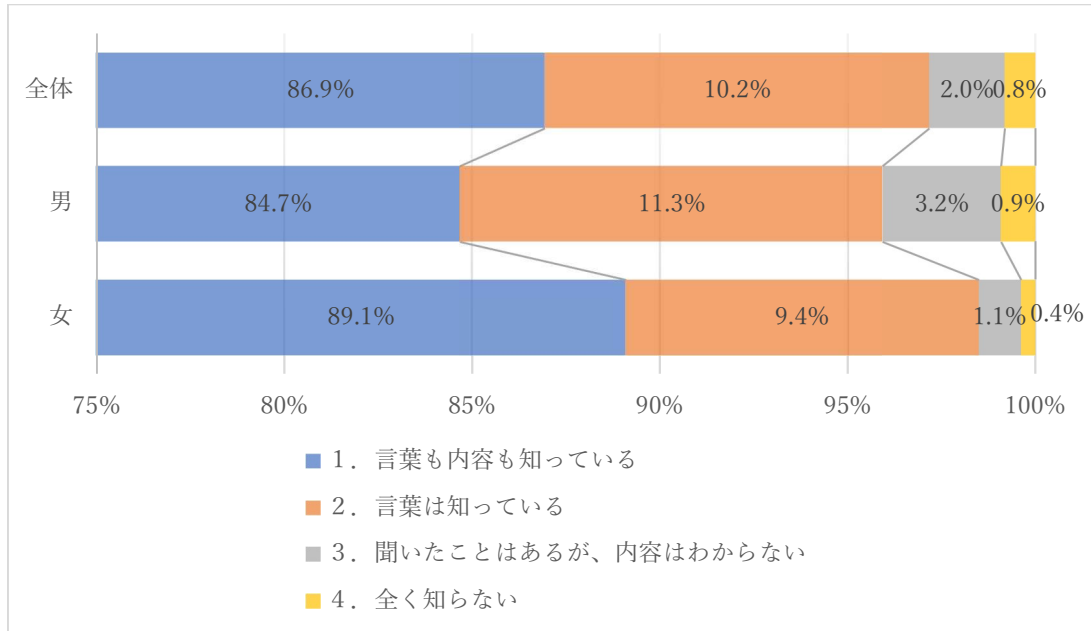
問16 男女平等な職場を目指す歌目に、どのような条件整備が必要だと思いますか。
(2つ以内で選択)



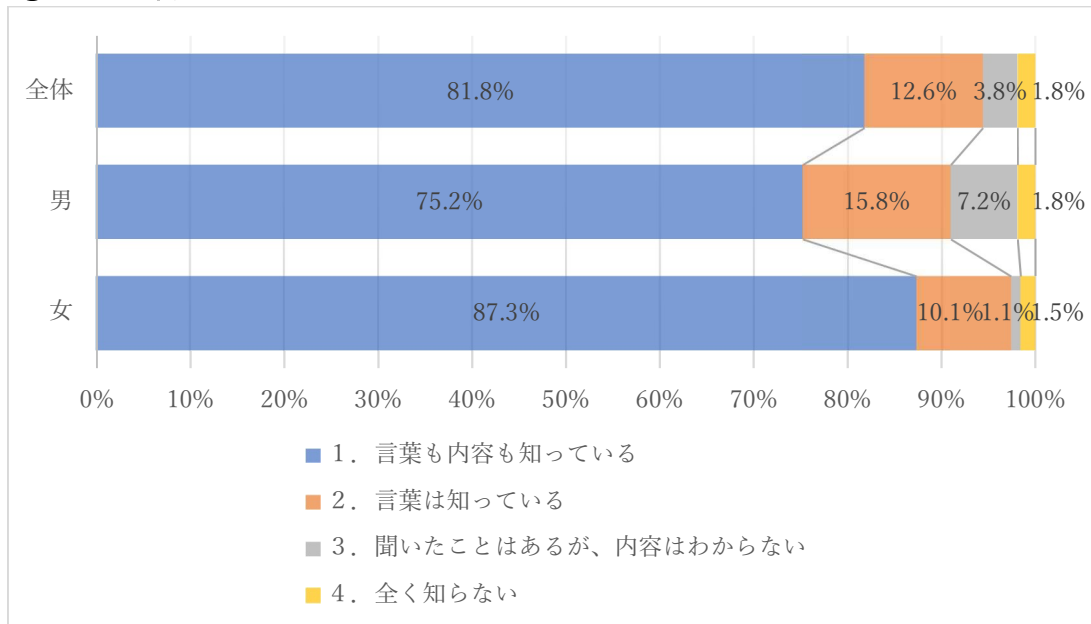
5. 男女間における暴力について

問17 男女共同参画にまつわる言語の認知度(1つずつ選択)

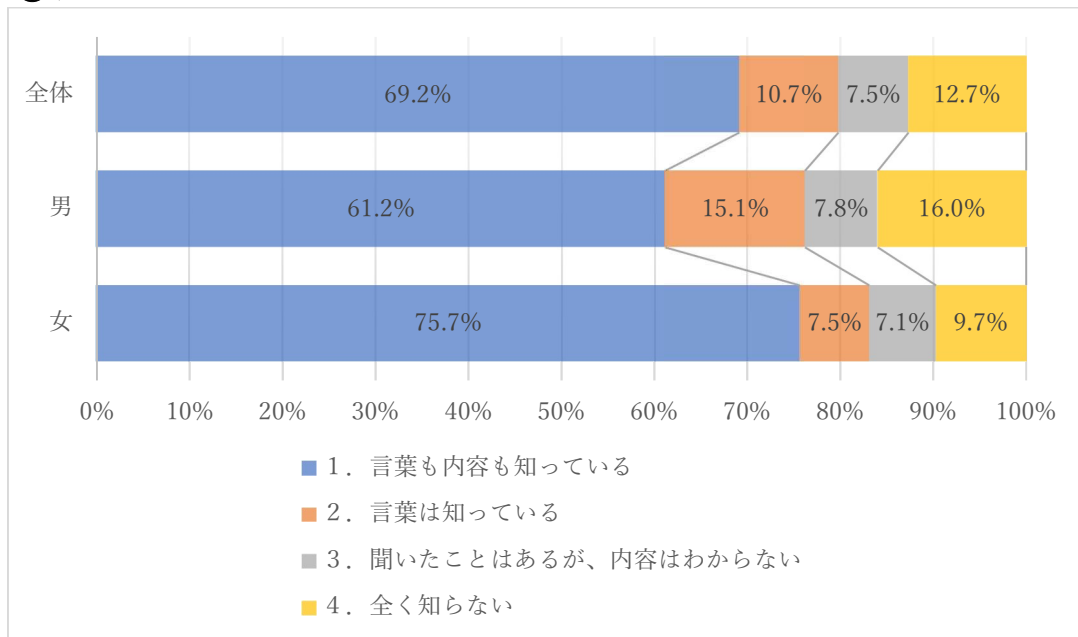
①セクシュアル・ハラスメント



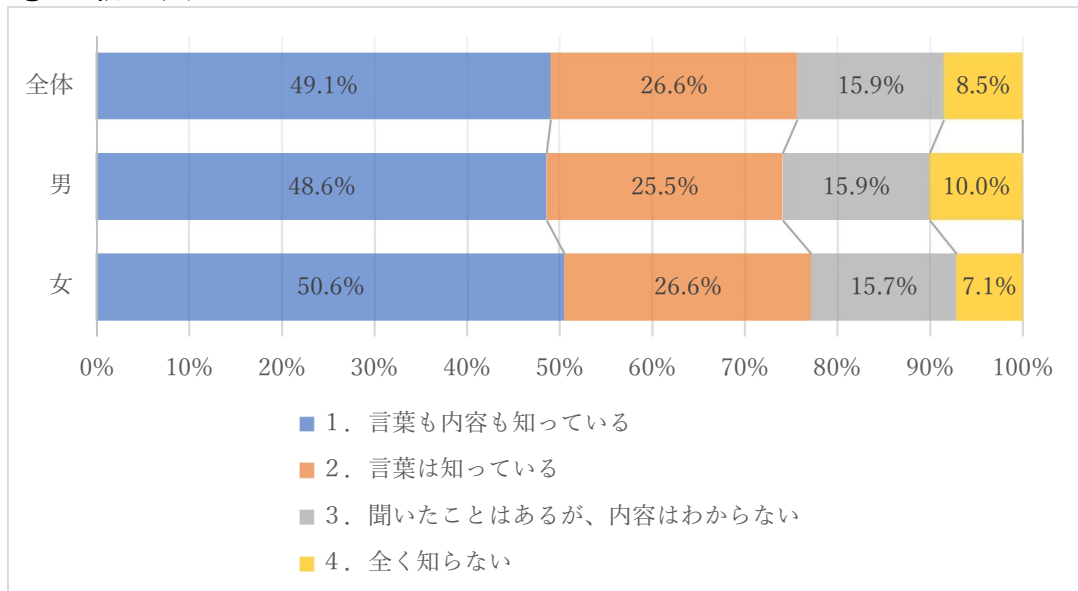
②ドメスティック・バイオレンス



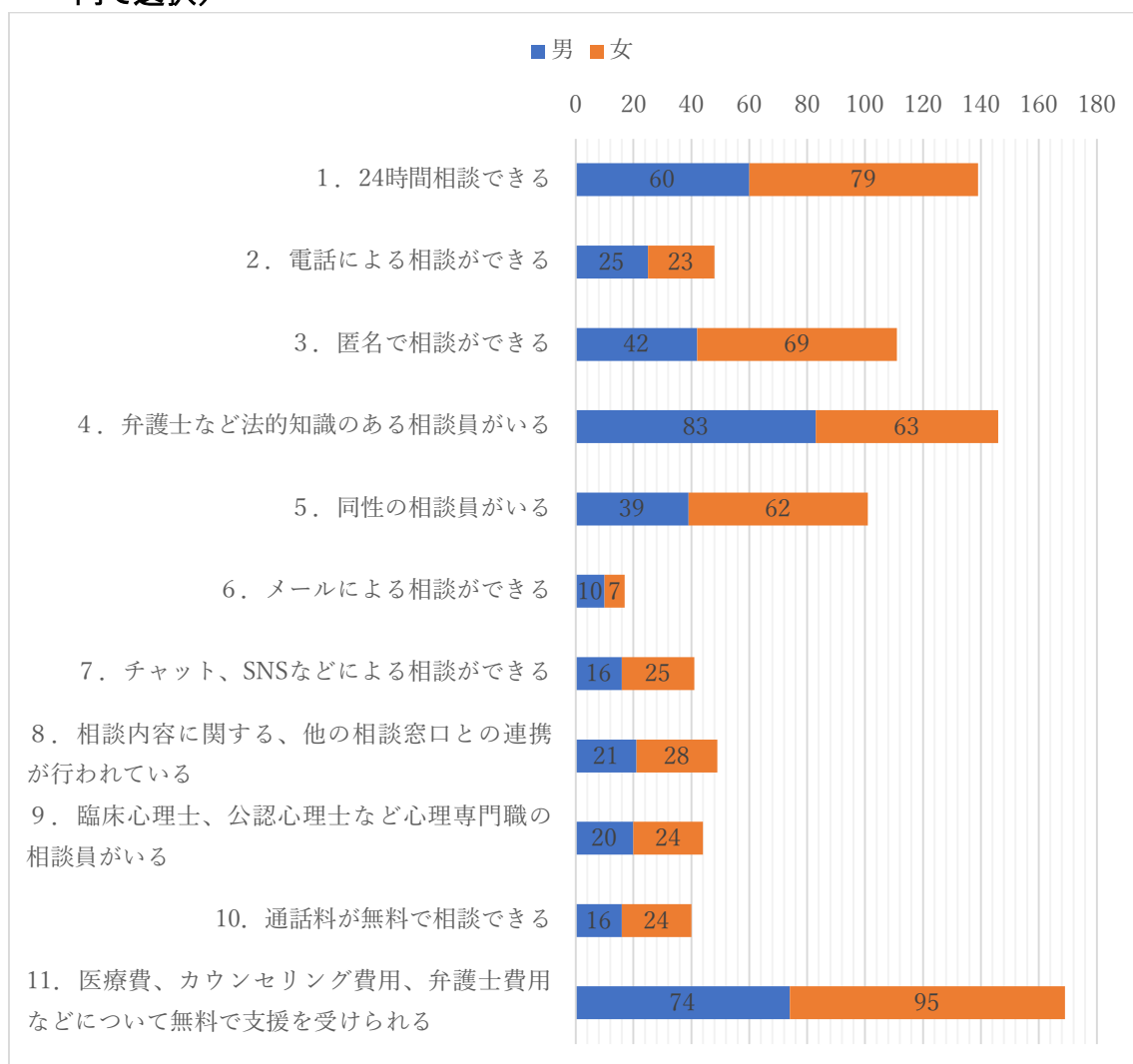
③デートDV



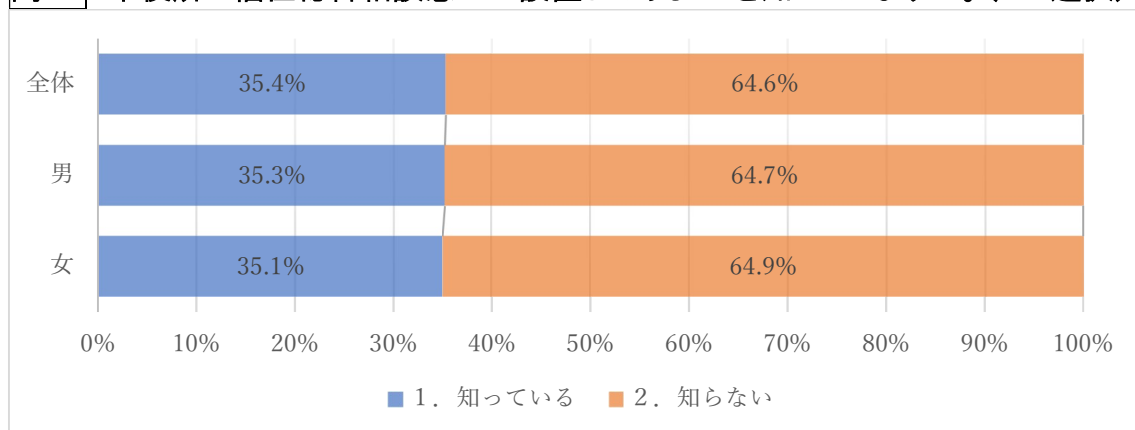
④DV 防止法



問18 DV や性暴力の被害やそれに関する悩み相談窓口で配慮してほしいこと(2つ以内で選択)



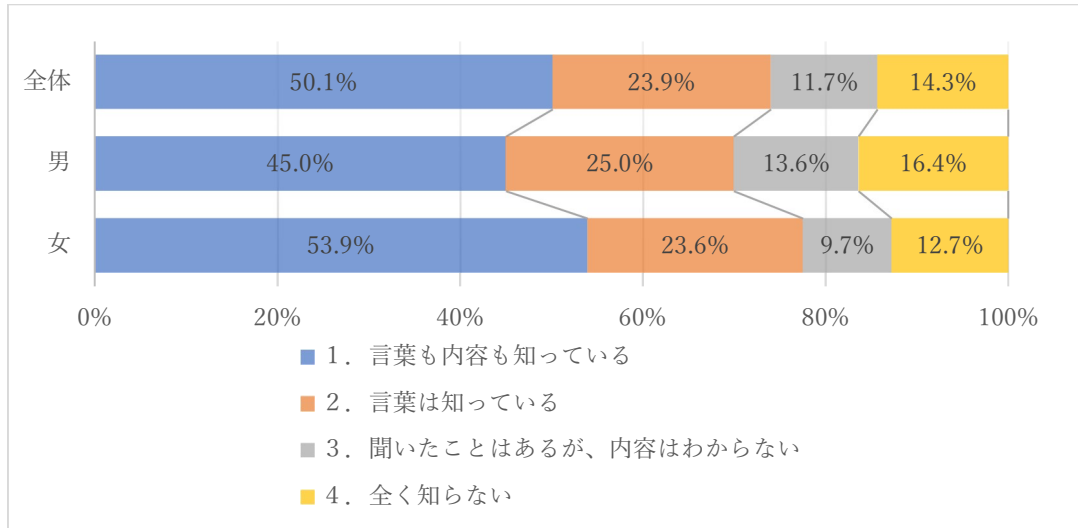
問19 市役所に福祉総合相談窓口が設置してあることを知っていますか。(1つ選択)



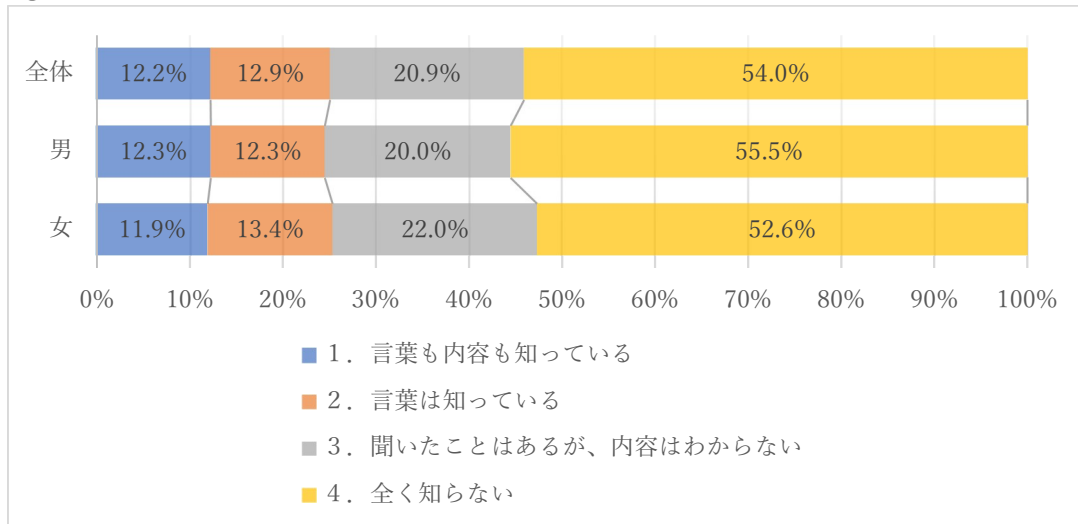
6. 多様な生き方について

問20 多様性にまつわる言語の認知度(1つずつ選択)

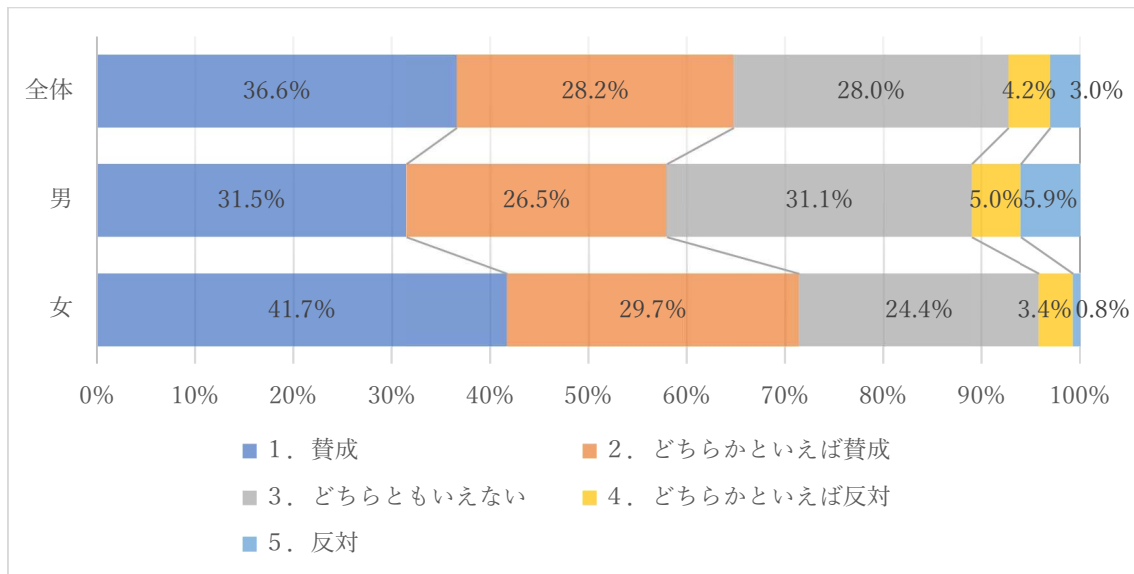
① LGBTQ



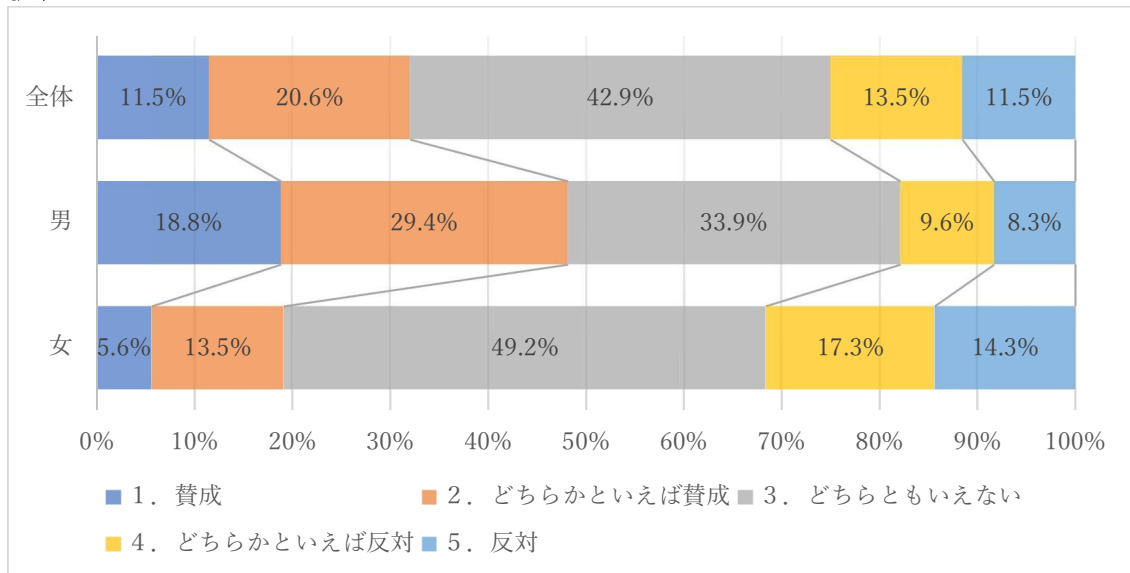
② SOGIE



問21 パートナーシップ・ファミリーシップ制度について賛成ですか。(1つ選択)

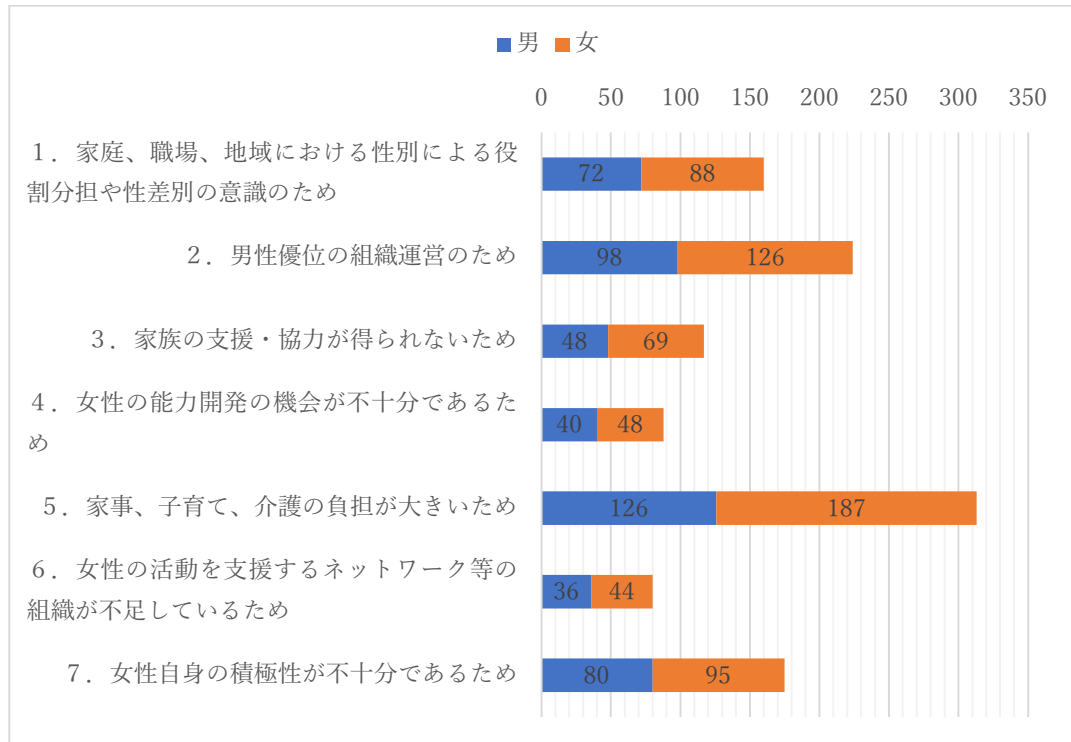


問22 男の子は男らしく、女の子は女らしくという育て方について賛成ですか。(1つ選択)

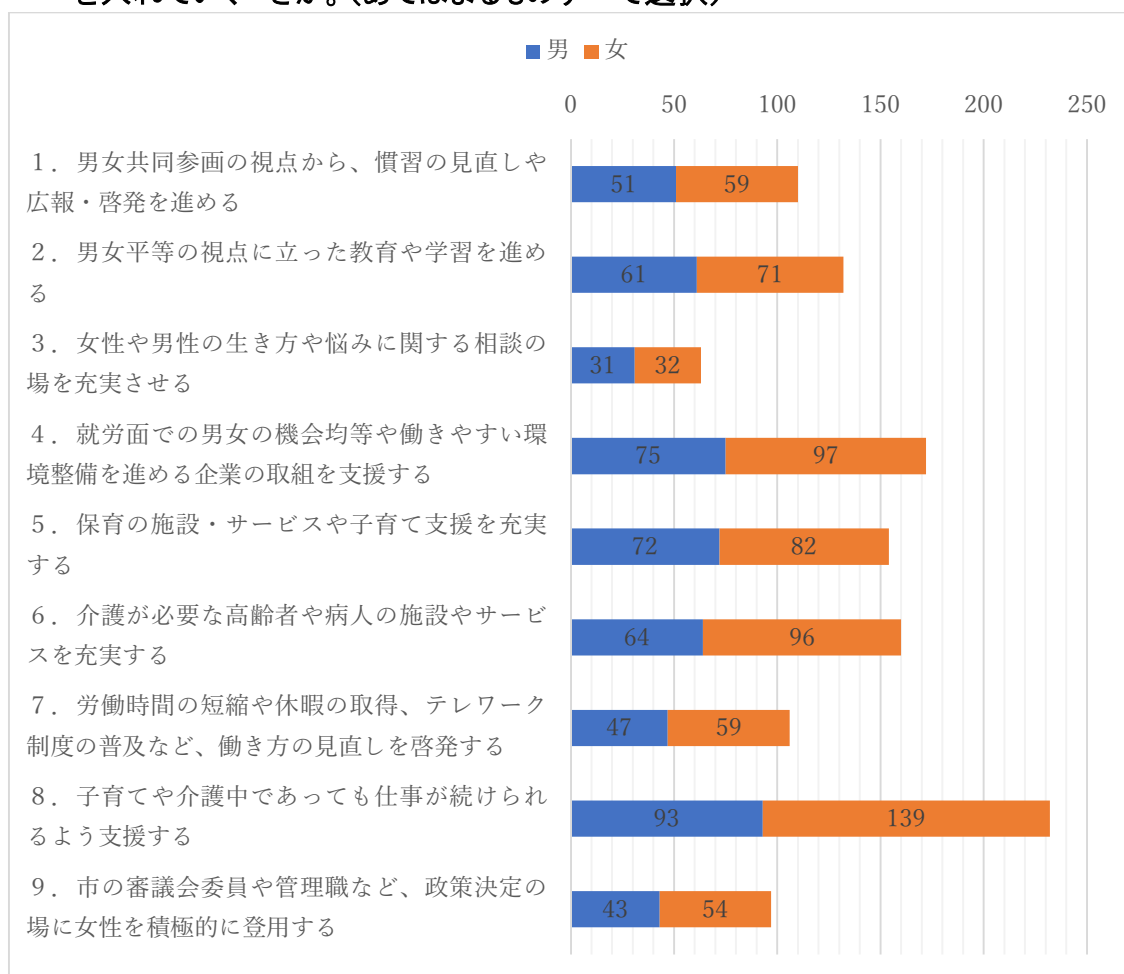


7. 今後の課題と取組方策について

問23 政策の企画や方針を決める場に女性の参画が少ない理由(あてはまるものすべて選択)



問24 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が特にどのようなことに力を入れていくべきか。(あてはまるものすべて選択)



回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
1	男性、女性の思考の違いもあり、責任ある立場に昇進したときに、感情を優先させて動いてしまう人が多いとは感じる。 私の職場は女性のほうが多く、実際のところは女性の意見は非常に通りやすいとは思いますが、その反面、女性特有の感情的なぶつかり合い（あの人は苦手なので一緒に仕事をしたくない、など）が起きやすく、仕事に対しての目的意識がうまく育たないと感じることはある。 普遍的な物の見方については、もちろん男性でも欠けている人が多いので個人の資質の問題もあるが、男女関係なく上に立つ者の考え方、判断の仕方についてもう少し皆が学べる機会があるとよい。"
2	男でも育児休暇や育児中は労働時間の短縮など育児や家事を男でもやりやすい環境になると良いと思う。
3	男女共同参画についての既存の取り組みについて知らないことが多いので、もっとそのような取り組みが行われていることを知ってもらう必要があるのかなと思います。
4	まず「男女」という言葉自体に男性優位性が含まれてるのでは？という問題意識が必要だと思います。 実際、だからといって「女男」にするのもどうかと思いますが、無意識に男性が先になっている物事はたくさんあります。そういう意識を変えるには啓蒙も必要だけど、行動の方が大事なのではないかと思います。例えば、市議会議員の半数は女性にする、とか決めてしまうということですね。"
5	そうゆう社会に若い世代はなってきたと思うので上の世代の方達の固定概念的な意識を変えていくことが大切だと思います。
6	男女が共同で肩を並べるなら女性は男性と同じように同じくらいのタスクをこなすべきである。女性のやる役割もしくは男性のやる役割という垣根を優劣、上下を問わず社会に参画するべきだと感じる。私の感覚では従来の女は家、男は仕事というような枠組みは未だ根強く感じる。共同で社会に参画するのであれば職場の環境と管理職の共同参画への意識の改革、子育てや介護を口実に出来ないくらい行政サポートの拡充が必要なのかもしれない。
7	脳、身体の違いがあるし、考え方や環境も多様なので、外形的な平等を定める一様な社会システムは無理があると思います。本人の希望にそって差別、障害を低くする努力義務ぐらいがよいように思います。
8	前提として、私は男女共同参画には賛成の立場です。 しかし、女性側からの意見として、それは大多数の方が望んでいることでしょうか？一部の方の意見や正義感でそう言っているだけなのでは？ 参画するもしないも、それはそれぞれの方の状況や考え次第であり、強制はできないと思いますし、押し売りになってはいけないと思います。 やる気がある方であれば家族を説得し、家庭と両立しながら人に言われなくても自分でやると思います。私の母がそうでしたので。 女性の社会進出の手助けをすることには賛成します。しかし、女性というだけで能力もないのに採用をすることだけは止めていただきたい。あくまでも男女関係ない能力重視の社会が理想だと思います。ただし、裏を返せばそれはその気もない方や家庭を弱肉強食の理論に巻き込むことになってしまいますが。 昨今の世の中の情勢を見る限り、旦那さんがよほど高級取りでない限りは女性が社会進出を拒否できる状況ではないので、機会は幾らでもあるだろうし、それで頭角を表せないのは性別云々関係なく、それはその人の実力だと思います。家庭等の事情を変えられないのもその人の実力であり、説得できないパートナーを選んだのも自己責任。 公ができるのは育児・介護等の施設等のハード面の充実や納税額等、市民が本当に何を求めているか？そに対してどう実現し、どう運営するのか？を考えることが重要なのではないのでしょうか？
9	現在妊娠中で、仕事を辞めています。今後が本当に心配。 子供が産まれたあと働く気はあるが、2人目も考えているため就職しづらそう。 子供を産んで仕事を辞めてしまった女性への支援などあったら嬉しい。

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
10	女…というか、人間としてお互い自立していこう、意見を言おう、コミュニケーションを取ろう、という人間の尊重ができるようになれば自然といい方向に変わって行くのではないかと思います。 LGBTQ.SOGIEについては、個人としてはそういう方もいるのだなと知るところまでで他の誰ともおなじように普通に敬意を持ち接していればいいと思っています。彼らも誰彼構わず全ての方に自分のことを知って深く理解して欲しいとかそういうものではないと思うので犯罪にならない範囲で自認してくれたらいいのかなと思っています。困っている方には相談→繋げてくれる所があるといいですが。 あとは普通の人間関係と同じようにお互い「人が嫌がることをしない」だけでいいのではないかと考えています。例えば「からかう」とか「無理解なのにわかったように話す」などは別にマイノリティじゃなくても幼稚で嫌だなと思います。 お風呂やトイレの問題がよく上がりますが、心が異性なら異性がどんな気持ちになるかも理解してくれると思います。特別扱いはしないけど配慮出来ることはする。行政的には誰でもトイレを増やす、とかでしょうか。横文字だし目立つ事ですが、人の生き方に関わる繊細な分野だと思いますので、行政として取り組むならばしっかり勉強した上で慎重に動いて欲しいなと思っています。ただし、生物学的な区分が必要なところでは、しっかり区別していただけるようお願いしたいです。 設問のいくつかは選択肢に選べるものがなかったので空欄にしました。 問10はそもそも女性に声がかからない事が多いのではと思っています。地域のことだと特に、女性は他の土地から結婚を機に来た方が多く、お互いをよく知らずお互い声をかけずらかったりなどもあるのではないのでしょうか。
11	変わってきたいと思うが、地域や職場で男性優位の雰囲気はあると思います。女性側も求めている場合もあるので難しいと思います。誰もが尊重される社会になるとよいと思います。
12	男性は年々繊細ぶる。女性は年々たくましく、言い訳しない。ここ数年そう感じる。
13	今後どのように変わっていくのか期待しています。ぜひ市民の方々に伝わるように啓蒙、広報をしっかりといただけたらと思います。
14	男性が育児休暇取りづらい。業務に迫られるため働き方改革がもっと推進されるべき。夫婦それぞれ勤務時間が1時間でもズレれば育児、家事がしやすそう。
15	昔からの考え方、習慣等の影響もあり、普及するには、地道に進めていかないと難しい話と感じている。
16	性別に関わらず、適材適所が大事。 男だから、女だからではなく、その人に合う仕事や家事育児をそれぞれが分担していけるような環境づくりをしてほしい。"
17	管理職に女性を何%などとするのが男女の機会均等ではないと思っています。同じ土俵に立ち、能力に応じて活躍することが大切なのではないのでしょうか。そのためにはやはり男性の意識改革、制度面での改革が必要です。
18	生物学的な性差と社会的・文化的性差を比較したとき、生物学的性差が優先されるべき性差がある以上、お互いにわかりあえることは無いという前提が無いと厳しい"
19	男女はそもそも持っているものが違うと思うので、子育てにおいても母性があり、私は基本的にはお母さんが子どもを育てるべきだと思っています。経済的な理由で働かないといけなくて子どもに手を掛けてあげれる時間が少ない人には行政が子どもが安心して過ごせる場所、児童館とかニアキスみたいなところ、特に葦崎は南アルプスにあるような自由に出入りできて見守ったら優しく接してくれるスタッフの方がいるような場所が少ないような気がするのです小学生が行きたくなるような場所を増やしていただきたいです。子どもが安心して過ごせる場所があるとお母さんもとても安心してきて精神面でも落ち着いて良い循環が出来るのではないかと考えています。

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
20	4月に東京から移住してきました。このアンケートの内容から察するにこの地域では男女平等の現状が私がこれまで経験してきた状況とはことなり保守的な色が濃いのだろうと感じました。 我が家は現在一時的に、夫が主に家のことを担い私が起業の準備を主で行なっていますが、近い内に両者が働いて家事育児を5分で分担するスタイルに移行する予定です。夫が就職した先の企業が男性の家庭参画に理解のない場所だったと思うと不安になりました。行政には男女共同参画を積極推進している企業への支援や、逆に積極的でない企業へのペナルティ、企業における男女差の可視化、企業側への啓蒙など、行政だからできる取り組みにより一層努めていただけたらうれしいです。"
21	必要無い。 女性は感情的な意見が多い為、そういった事が必要になる場面で活躍して貰えば良い"
22	地区の会議にも、女性の参加は少ない。過去からの習慣かとも思うけど、強制的にでも人数設定をかけないと、男女参画の進歩はないと感じる。
23	ご高齢の方は男尊女卑が染み付いています。 昔の制度や教育も男性は強く、女性は優しくと唱えていました。 大事なのはやはり教育者の子供達への教えや、市役所内での不平等は無いようにすることだと思っています。"
24	この考えが当たり前になるには数十年単位でかかると思う。古い考え方の世代がトップに多いのでなおさらかかるように思う。
25	男女間の優劣をつけるのではなく、能力によって適切な対応をして欲しい
26	日本の人口減少の中、子育て、介護、看護、高齢化、一人世帯の孤立など其々が抱えている悩みは色々有る。男女問わず出来る人が行動するしかないと思う。地域に根付いた若いリーダーとなる人材の育成も必要だと思う。 幸い、山梨県は家族や知人とのつながりが強く援助、情報を得やすい人も多いと思う。 20～30代の男女と50代？以上の男女どの考え方も違う事を踏まえると、若い世代の意見、働き盛り以降の意見などを具体的に知る機会があれば振り返るきっかけとなり、良いのではないかと個人的には思う。"
27	男女平等、男女共同参画とはよく叫ばれることだが、女性は男性と同様あるいはそれ以上の権利ばかり求めるが、役職やリーダー的な義務になると嫌がり、女性自身にやる気がないので、もう凝り固まった年代の男女を変えようとしても無意味だと思う。それよりも今後を担う子供たちに必要な教育をして意識改革をしていき、自然に男女平等になるほうが健全だと思う。"
28	地方は潜在的に男性優位の意識がある その潜在意識を変える努力をしなければ何もスタートしない"
29	日常生活において特に意識することは無いが当たり前となっている日常は他の人や社会から見ると異常だったりすることもある。広い視野で俯瞰することが大切かと思います。
30	男性優位な社会システムであることに無頓着な男性が多い。そのような男性が、女性の甘えや意識の低さを問題とし、女性の意識向上を啓発するのは無意味。
31	女性の活躍する社会が実現する事は望ましいと考えます。
32	①外発的動機づけと②内発的動機づけで分けて考えました。女性の活躍者が少ないと言う点での心細さは女性の活躍者が増えない限り拭えないと思いますが、これは男性(または女性)の仕事であるというような固定観念や差別は問24のような取組で少しずつ改善できるのではないかと思います。これは①外発的動機づけによる意識改革です。問題は②内発的動機づけです。固定観念や仕事や家事、子育てによる動きづらさを除き、意欲的に手を挙げる人が少ないのには、成人を迎える前の社会環境が影響しているのではないかと思います。学生のクラス会議を例に挙げると、意見を交わし合う中で、実際に発言する人は一握り。(学校によると思いますが)この一握りの中に入らなかった人たちが多くいる社会の中で、ましてや成人を迎えてから直面する政治や地域活動など、喜んで手をあげる人はいないのだと思います。しかし、政治や地域活動はこのクラス会議や身近で行われている議論の延長線上にあるもののはずで、本来は誰もが参加できるもののなのに、一目置かれてしまっています。どうしたらいいのか最善の答えは分かりませんが、成人を迎える前に似たような仕組みを経験したり、理解が深まると少しずつ変わっていくのではないのかと思います。"

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
33	「男女共同参画」を普及啓発する為には、この男女共同参画が一般的に内容が理解されてないのと、そもそも論ですが本当に男女共同参画を知らない一般社会人が多いのが現実なので、講演会を開催した知識と理解の向上を図るのが必要だと思います。
34	特にありませんが、所々の回答選択肢が古いと感じました。多様な意見の選択ができると良いと感じました。
35	まだまだ古い慣習が根強いと思います
36	問1の「優遇」の内容がイマイチ分かりませんでした。どういう事が優遇というのか。
37	男女共同参画という言葉が固いイメージだと思う。言葉を柔らかに女性市民に名称を公募して取組みを認知してもらおうのはどうでしょうか。他には女性専用の意見箱やメールフォームなどのよろず相談先の設置を行ってはどうでしょうか。
38	アンケートの意図がわかりません。このアンケートは何の役に立つのか、役立てるつもりなのか追っての説明を求めます。
39	母親の役目、父親の役目はあると思う。性別があつてこそその社会が成り立っていることは、事実であり、それを完全に平等ということではとらえすぎてはいけないと思う。女性らしさ、男性らしさまで否定することは違うと思う。らしさを他人が求めることが違うのであって、自分からしさを求めることまで否定されていくこともあるように思う。なりたい自分でいれる、お互いの良さを認め合える、お互いの個性や能力を活かし合えることが大事なのだと思う。それぞれにしかできないこと、両方ともできることがうまく分担できていける社会ができあがってほしいと思う。
40	男性だから、女性だからといった根強い考え方がまだ残ってると感じる。
41	蕪崎市の男女共同参画に関わる男性職員の意識を女性の目線にたって考えられる様にしてもらう事からはじめてもらうと良いのではと思います。村田沙耶香の著作『世界99』という小説で、女性の置かれている環境が分かりやすく表現されていて、フィクションですが、私が女性として社会生活していく上での憤りがリアルに代弁されている様に思えたので、ぜひ男性に読んでほしいと思います。"
42	このアンケートが非常に恣意的な物だと感じます。どの選択肢を選んでも男性叩きや会社叩きに繋がりそうな選択肢ばかりで、その他項目もありません。願わくばこのアンケートの結果が公的な書類に使われないことを祈るばかりです。
43	男女の性別関係なく共同に参画できる社会になって欲しい。
44	平等は個々の家庭で考えが違ふ、男女の収入面で平等の考えは異なる。
45	男性は働き女性は家庭といった思考が根強くあり、各人の意識改革が重要だと思う。根強くあるものを改革するのは困難で厳しいのかなと。"
46	男とか女とかではなく、人間として一人一人が認められ尊重される社会を創らねばならないと思っています。
47	女性だから、男性だからという考え方が家庭のなかで根強いことが問題ではないかと思う。いくら、学校や社会で平等を叫んでも、家庭内の力関係から学んでしまう。平等というより、個人を認める力、思いやる心を育むことを重視してほしい。
48	自治会運営についてですが、昔からの習慣が強く女性の役員参加は少ないと感じます 行政の責任では全くありませんが、自治会員が減少していくなかでの運営方針の指導などが今後必要ではないかなと感じます
49	昔の話を聞くと、今は男女の差も少なく平等になってきたと思った。だが、まだそういった偏見はまだ残っていると思った。
50	職場では女性は男性のアシスタントという体制が根付いてしまっている
51	差別は絶対にいけないが、元々の生まれ持ってきたものによって向き不向きはあると思うので、適切な区別は必要だと考えている。
52	1の男女平等についてですが体質等が異なる為女性が優遇されてる部分もあるがそうでない部分もあると思います。何をもって平等と言っているのか理解できません。地区の役割についても誰もがやりたくないというのが大半だと思います。行政が押し付けているのが実情ではないのでしょうか。人それぞれ考え方が異なりますので枠にはめず話し合いで決めて行けば良いのでしょうか。市の行政や活動で解決できる問題なんですか？"
53	難しいことは男性にまかせるとして、政治、自治会に参加しない男性も昔からの慣習がある。自治会などの重要な事案がある場合、男性が参加している、また、このようなことに教育が無なこと。市政において、まず文書化と教育の実施が必要でみんなが様々なことに正しく理解できるようにしてほしい。

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
54	当自治会には、女性も参加活躍している。本人には才覚（リーダーシップ）があるのに、男勝りになるのではないかと、せっかくの才覚を引き出せないまま終わってしまう。責任感の重圧に気づき、事なかれ主義を貫く人も出ますが、そんな職場にならないように上司が率先して才能を引き出せるよう成果主義を植えつけたらどうでしょうか。
55	SNS等により、過激なマイノリティの意見が拡散されやすい仕組みができつつあるように思う。これに単純な能力不足を「簡単には変えられないもの」に原因を見出し、「共感している雰囲気」を覚えやすい話題として拡散されているように感じる。様々な事柄に対して、小さなものでも問題があるなら解決しなくては行けないが、全体の幸福を前提とした運営が崩壊してはいけないと考える。
56	長期的な計画（100年単位）による啓発、教育が必要と考える。
57	仕事と子育ての両立ができなければ、どんどん子供の数は減少していくと思う。女性が仕事のスキルを上げようとすれば、出産と育児は重荷になってしまうのでしょうか、どちらかを選ぶということは、現状とてもむずかしい事と思える。
58	高齢者の人たちを見捨てない韮崎市にしてほしい。若い方も老人も平等の視点で支援してほしい。これからの男女共同参画社会に期待しております。
59	一般的に女性は単一の職業に従事することが多い。もっと総合職として、行政、企業も採用、教育するべきと考えます。男女の区別なく、家事が進んでできる環境を社会、企業側の従来からの先入観を排除していくこと。（国家の問題）
60	女性が男性のように働くには、今の経済上、とても難しいと思っています。仕事は男性、家事は女性がやるということが根付いてしまっている以上、ムリです。私は仕事、家事を両立して生活していますが、男性のように仕事できません。不公平な面もたくさんあります。仕方ないと思っています。
61	働きたくても子供を長く見てもらえる所があればと思います。韮崎市がもっとほかの面に対してもちがう所や良い面もあります。いまからの人たちのために頑張って良い韮崎市にしてください。
62	男性は外で働き十分な収入があるのであれば、女性は家庭にいるほうが私は望ましいと思っている。子供が家に帰ったときに「おかえり」と迎えてやりたいし、ゆとりのある生活の中でゆったり子育てをした方が良いと思っている。外で働く夫、家庭を守る妻にお互いが感謝の気持ちを持つのであれば、男性も女性も平等の上に、おのずと良いバランスが生まれてくるのではないと思う。男女平等ではあるが、男性ならではの、女性ならではのの特徴もあるので、お互いが尊重しあえば相手にだけ負担を偏ることのない良い関係を気付いてゆけると思う。
63	女性だけを特別な環境整備を支援するのではなく、男性、女性の両方を平等に支援することが大切だと思う。
64	すべての人が平等な社会が普通の世界になりますように！
65	子育て中の専業主婦にも手当てが欲しい。給付金など
66	韮崎市が「男女共同参画」に関する活動の推進を積極的に行ってきて、以前より、地域に浸透してきていると思います。これからも協力していこうと思っています。
67	上意下達の意向が強く感じられ、持続性に欠ける。もっとソフトな取り組みで行動しては？
68	労働時間が短縮され、男性も家事に参加しやすくなる。女性の家事の負担が減る。女性の時間的、精神的負担が減り、仕事や社会へ貢献しやすくなるのではと思います。
69	理想と現実がまだかけ離れている。女性がやるべきことという思いが地域に強いと感じる。
70	会社ではまだまだコネや人間関係、本人の仕事量などで人を無視傾向が未だに残っています。いくら仕事ができても上司に気に入られないと上にはいきません。こういう日本に残っている古い考えを改めていかないと男も女も社員から尊敬される上司にはなれないと思います。
71	自治会の行事である環境整備、お祭りなどで、組長として参加しなければならない、女性の参加人数が増えるが男性のようにできない。
72	子供が病気になったとき、会社を休みづらい。夫は会社を休めない。子供の習い事の送迎があり、時短勤務でしか働けない。育児休暇があっても会社で実際に利用する人が少ないし、実際利用すると会社の運営に支障が出る。
73	男性は女性の姿をもっと知り、女性は男性の姿をもっと知って、お互いの姿を理解していくことが重要であり、行動に移していくべきだと思おうがなかなか実行するのが難しいのでは、、、

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
74	男女共同参画という言葉や取り組みを耳にせずいぶん年数がたちますが、あまり進んでいないように感じます。女性管理職や男性の育休など少しずつは浸透してきていますが、やはりまだ、男性側の意識も女性側の意識も低いような感じがします。男性向き、女性向というのはあると思いますが、向きというだけでなく視野を広げていくことも大切だと思います。男性にとっても女性にとってもよりよい社会であることを望みます。
75	男女にこだわらない能力のある者ができることをやる。
76	問23にあるように、自治会の運営について、地区の役職（区長、自治会長）につくリーダー研修等を行い、社会変化、慣習、課題等を共有し、啓発していかなければ地区行政が衰退していくのではないかと懸念しております。
77	ひとり親についての住居の提供。できたら、月々の支援のことについて考えていきたい。（例えばくに・県として月何十万円の支給とか）暮らしやすい街づくりをしてほしいです。
78	自治会の集まりや話合、行事等に若い人の出席が少ない
79	以前よりかは、かなり育休制度が充実してきてはいるので、よくなりそうです。
80	日頃、男女共同参画について、深く考えた事はありませんでしたが、この度のアンケートによって今日までの自分の生活を振り返ることができました。特に家庭の生活については、家族の協力で母を在宅介護できたことや、子どもが成長し、夫婦二人だけの生活の中で、仕事と家事を協力して日々、過ごしています。最近は女性リーダーの活躍や男性の家事や育児への参加も見られます。今後は男女共同参画に関して意識を高め、推進に協力できたらと思います。
81	アンケートの問1にも「どちらともいえない」「わからない」をつけてほしかった。自分の心を守るために、不満があってもあまり考えないようにしている。悩んでもどうにもならないと思っている。
82	人口減少の中、女性の力を活用するしかない。多くの女性が補助的な仕事しかしていないのが大問題。子育てや介護のために正社員を辞めざるを得ず、復帰しても非正社員となり、キャリアアップできない。夫の長時間労働（非効率）が一方の大問題で、夫の子育てや介護への参画ができない。これらを政治・行政が改善していければ。
83	雇用や昇進、登用などに男女差別があってはならず、能力、実績などという同じ土俵上で評価すべき。ただし、男女の特性の違いは、無視すべきではない。
84	まずは政治家及び行政の意識改革が最も重要である。市民からアンケートをいくらとって、頭（トップ）がしっかりしていなければ何もはじまらない！極端に言えば市議会議員などいらない。地区長や関係する仕事をしている人の報酬を上げなければみんなやる気が生まれないのは当然である！
85	職場においても社会においても、男女平等というものの、いつも男女平等ではないなー！と思う日々です。
86	平等にすることで差別が生まれる。
87	男女共同参画は各家々での考え方が左右すると考えています。また、その家庭の事情も関係します。子供が多くいた私の場合、一人が病気になるれば兄弟が次々と体調を崩したので、職場に迷惑がかかると思うと正規の社員として働くことは難しいと考えました。このことは、少子化とも関係してくるのではないかと考えます。
88	男性、女性のそれぞれの特徴はあると思います。しかし、女性だからこれをしなくてはいけないとか、男性だからこれはしなくていいということはないと思います。互いの立場に立ち、思いやりの心が大切だと思います。
89	家庭でも収入の多い方が優位になりがちで男性（夫）の方がどうしても家庭より仕事優先になってしまうことがある。男女は根本的に肉体的にも体力的にも心理的にも違う部分があるので、そこをお互い理解したうえで男女が共によりよく生きていける思いやりや工夫や方針が必要だと思う。
90	休日の午後に買いを開けば！
91	私自身がそうだが家事、育児が大変といってPTA地区行事などの面倒毎から逃げたい女だらけ世の中は！子供の頃からの教育を変えないといけないのか人間の本质なのか？男女共同って言ったってフィジカル面ではとても太刀打ちできない。
92	なかなかむずかしい事だとおもいます。
93	行政が地域活動に「丸投げ」が多く地域活動を「そがい」している。行政は、自ら行動する気持ちをもって活動していただきたい。

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
94	男女共同参画については賛成ですが、男の子3人を育てた私としては、男・女は根本的に違うと思っています。それぞれの特性にあった活動ができたと思っています。
95	男女共同は以前よりは参画できていると感じており、不平等とは思わないです。
96	「男女」という言葉自体、もう時代に合わないと思っています。6のLGBTQのような現状もあり、男女の2種だけでまとめるのは不十分であるでしょう。例えば、「全ての人達共同参画」とか「全人類共同参画」とか、そう行った文言が必要な時代なのでしょう。まあ、複雑な時代になったなとは思いますが、今後もその傾向は進んでいくでしょうね。
97	義理の親との同居のため、蕪崎市に市外より移住しましたが、意識の違いに驚きます。良い面もありますが、親の世代がいるうちは、蕪崎において男女共同参画への参加、推進はできないと思います。とにかく嫁はでしゃばらず、お仕えすることで家庭の平和が保たれる状況です。
98	女性に多いのは、意見や批判はするけど、自分はやりたくない、責任は取りたくない方が多い様です。自治会長をやって感じた事です。
99	男女が仕事・学校・家庭・地域において、全く同じことを求められ、それを取り組むことが本当の平等なのか？男性の様な力仕事は、同じ様には女性は出来ず、男性が子育てのすべてを女性と同じ様に行うこともできない。お互いが歩み寄り、男女の差をできるだけ少なくすることで、平等に近づいてゆくのではないかな。完全なる平等は、なかなか難しい。
100	女性が子を出産、育児、家事さらに仕事。子供が結婚すると孫の世話、両親兄弟の介護、これじゃ自治会活動はともかく、政治や行政までは、、、私には無理かな。
101	自分たちの権利や主義、理念を主張したい団体の恩恵のための方に感じる。地区でも本当に必要なのか、あまり意味がないという声が多い。
102	アンケートが活用される市制になってほしい。
103	私の世代はまだ男性が強い（亭主関白）。口調が強いのが残念（コミュニケーションが取りづらい）。家庭の中では、男女平等とは程遠い。子供たちの代では、平等に協力していいと思う。
104	本当はどんな参画や企画は、一人一人が少しだけ思いやりを持てばいいだけです。
105	年代には少しむずかしいかな。（80歳です）
106	男性と女性を等しく平等とすることは不可能であると考えます。（※出産は女性にしかできない、男性の方が生まれつき体力がある等の理由から。決して女性を下に見ている訳ではありませんが、どうしても力仕事などは男性が担うため、女性はそれ以外をする流れにならざるを得ないと思います。）給料の格差については是正すべきだと思っています。
107	今までの慣習を急にガラッと変えるのは難しい。行政や自治会などでは、圧倒的に男性が多いので、例年通りのような風習などわからないし、数の圧を感じて発言しにくいなどあると思う。また、職場でも発言する立場に無い女性も多く、慣れていないため、役職などに抵抗がある人も多く、消極的になってしまうのではないかな。
108	山梨県はまだ男女の差別がひどい感じが見られます。女性は奴隷のような言葉を受けて、病気になった方が多くおられるのですよ。なぜ女性は奴隷でしょうか・・・。
109	男と女の性の違いをよく理解し合ったうえでの真の平等とはどういうことなのかわからなくなることがあります。
110	誰しもお互いを思いやる心があれば、あえて必要のない言葉だと思う。
111	市議会や行政が男性、おじいさんばかりなのはおかしい。ぜひ女性の市長が出てほしい。
112	職場生活40年の私は、夫の両親と同居していたため、子供のしつけなど助けられました。老よちの両親もお互い助け合えたら、良い家庭になると思います。（良いところはお互いに利用し合えたりする）男女も協力が必要だと思う。
113	アンケートには関係のないことですが、もっと若い世代の人にアンケートを取った方がより良い意見が聞けると思います。
114	「男女」ではなく「人間」として誰も見られるような世の中になれば「男女共同参画」を立ち上げるまでもなく予算を割かずに済みます。まずは差別意識の強い世代、人に向けて教育するといいと思います。

回答 番号	「男女共同参画社会」の実現に向けた教育・まちづくりについて、ご意見、ご要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので、ご自由に記入してください。
115	日本の経済が成長すれば、ほとんどの問題は解決する。そのうえで、働きたい女性は働けばいいし、そうでなければなくて良い。無理に共同参画を推し進める必要性を全く感じない。そんなことより日本を強く豊かな国にすることが重要。そうすれば、皆の自由意思のもと、ひらけた活動が行われると考えます。
116	男女平等という言葉が使われて長いが、男にしかできないこと、女にしかできないことがあり、100%達成は難しいと思っています。